

# 全船協

会報138号 2018年8月 夏季号



ロールオン・ロールオフ貨物船「神北丸」  
北星海運株式会社提供



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <http://www.zensenkyo.com>

## 山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信  
〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号  
TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520  
Email: info@sanyukisen.co.jp

## B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ  
TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972  
Email: info@bands-k.com



## 北星海運株式会社

代表取締役社長 佐藤有造

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号  
セントラルビル6階  
電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575

## 一般社団法人 日本船長協会

会長 葛西 弘樹

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641  
FAX (03) 3265-8710  
http://www.captain.or.jp

## 一般社団法人 海洋会

会長 山本 勝

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地  
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632  
FAX (03) 3262-6909



## 一般社団法人 日本船舶機関士協会

会長 井手 祐之

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地  
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518  
E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp  
URL http://www.marine-engineer.or.jp

## 人と海に未来を

## 公益社団法人 日本海難防止協会

会長 武藤 光一

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号  
磯村ビル6階

電話 (03) 3502-2231  
http://www.nikkaibo.or.jp  
E-mail: 2231jams@nikkaibo.or.jp

海事業界メディアのパイオニア

## 日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは  
電話 **03-3436-3222** まで

電子版サービス「マリナビ」は  
**www.marinavi.com** へ

平成19年第9回グリーン購入大賞優秀賞  
平成21年第3回ものづくり日本大賞優秀賞  
平成22年資源循環技術・システム表彰  
平成23年第1回エコマークアワード奨励賞

広域認定事業所 **株式会社おぎぞ**

会長 **小木曾 順務**

〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468

電話 0572-59-8639 FAX 0572-59-4546

商船士官の経験を活かし10年前飲食店中のポキケイトを資源化しエコマーク付きの給食用お茶碗食器を開発し全国展開。この実績経験を活かし、今年新進優秀賞(産産省特約)で「廃PEボトルを自主回収しPE食器を製造販売する事業」で認定を受け事業展開に入る。ご支援をお願いします。

## 海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行  
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み  
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6  
電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

## 株式会社 コトラシステム

代表取締役 **土屋 正徳**

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-12-13  
日本橋船佐ビル3階

電話 (03) 3245-6975  
FAX (03) 3245-6980  
E-mail: cotrasystem@nifty.com

## 目 次

表 紙 ……北星海運株式会社「神北丸」	
会長就任挨拶 ……	会長 酒迎 和成… 2
平成30年度通常総会開催報告 ……	事務局… 4
練習船実習生への食料支給の継続を要請します ……	事務局… 7
海洋立国 日本の危機 ～練習船実習生に実習経費負担～ ……	山本 勝… 8
「どうして海のしごとは大事なの？」 ……	前副会長 赤嶺 正治… 9
三等航海士 ……	富山商船航海科 59 期高橋 尚徳… 10
特別授業について ……	内海水先区水先人 栗阪 肇… 12
「探せ、地球の宝物！」～地球深部探査船「ちきゅう」の概要と航跡について～ ……	
	……日本郵船株式会社 機関長 吉岡 知也… 21
北星海運社船紹介（神北丸） ……	28
海事ニュース ……	30
<b>北から南から</b>	
富山高等専門学校 ……	33
鳥羽商船高等専門学校 ……	38
広島商船高等専門学校 ……	43
大島商船高等専門学校 ……	46
弓削商船高等専門学校 ……	50
海技教育機構 ……	54
本部・支部だより ……	事務局… 56
会費納入者御芳名 ……	事務局… 59
時事寸評…… 表紙写真解説 …… 編集後記 ……	事務局… 60

# 会長就任挨拶

酒迎和成



平成30年6月8日開催の総会で理事に選出され、総会後の臨時理事会にて代表理事会長に就任致しました。どうかよろしく願いいたします。

まずは、自己紹介させていただきます。私は昭和44年に大島商船航海科専攻科を卒業し、日本郵船に入社しました。そして6年前の平成24年に日之出郵船の専務を退任して山口県に帰郷するまでの約43年間、海上歴15年、陸上歴28年、海運界で大変お世話になりました。帰郷した翌年、大島商船高専の同窓会長に就任して今年の10月で満5年を迎えることとなります。

私の略歴は次の通りです。

昭和44年3月 国立大島商船高等学校航海科・専攻科卒 (N67)  
昭和44年4月 日本郵船入社 三等航海士  
昭和53年6月～昭和56年5月 財団法人日本船員福利雇用促進センター 出向  
昭和59年1月～昭和62年10月 東京支店プラント課  
昭和63年7月～平成5年6月 長崎オランダ村・ハウステンボス出向、(株)ゼイクルーズ常務取締役  
平成6年11月～平成11年4月 横浜支店運航課長  
平成11年10月～平成17年4月 本社不定期専用船統轄グループ・自動車船グループ長代理  
平成18年4月 日之出郵船取締役就任  
平成20年6月 常務取締役昇任  
平成21年6月 専務取締役昇任

平成24年6月 専務取締役退任  
平成25年10月 大島商船高専同窓会長に就任、現在に至る。

海上歴については、貨物船(欧州航路、南米東岸航路、東アフリカ航路、東地中海航路)、専用船(鉱油船、LPG船)、自動車兼ばら積船、ばら積兼鉱石船、コンテナ船(カリフォルニア航路、ニューヨーク航路、地中海航路、欧州航路)等に乗船し、航海士・船長として海上経験を積むことが出来ました。

さて、今般、全船協の理事に立候補しましたのは、大島商船高専同窓会長就任後の平成27年に5校商船学科の定員200名を120名に削減するという検討案を仄聞し、全船協執行部に組織としての対応を願うと同時に同窓会会長としても独自の行動を起こしました。

地元町長をはじめ地元選出の県議会議員、国会議員の先生に陳情を行った結果、当面の縮小危機は遠のいたのですが、いずれは再燃すると思いましたので、やはり全船協の組織対応をいち早く実行できるように代表理事になろうと考えた次第です。

商船高専は、外航海運の商船士官を養成することが本来の目的でしたが、かれこれ45年以上続く長い円高の歴史の中で、フィリピン人船員に取って代わられた現在において外航海運では存在価値が薄いと言っても過言ではありません。又、国際船員賃金はドルコストであり、円高による日本人船員のドル円換算賃金は格段の差があり対抗は著しく困難です。又、国内の競争においても商船系大学・一般大学卒等と比較して、商船高専は、外航海運企業への就職活動において遅れを取っているのが現状です。しかしながら、このまま商船高専の商船学科の現状を黙

視する訳にはいきません。海洋立国日本には、日本人外航船員が必要であることは、平成30年5月15日に閣議決定された第3期海洋基本計画にも規定されている通りであります。私は、海洋基本計画に沿った日本人船員の育成・確保の為の商船教育の振興に、全力を傾注する所存であります。

私は全船協の具体的な活動方針として、下記のように考えています。勿論、理事会に諮り賛同を得て実行に移すことは当然のことであると承知しています。

- (1) 全国の商船教育の振興を促進し、日本人外航船員の復活を目指します。
  - ・特に商船系高専における商船教育は中学卒からの5.5年の商船教育は特筆すべき重要な教育システムであり、日本海運にとって必要不可欠との認識に立ち、全力をあげて支援します。
  - ・商船学科を目指す中学生を積極的に勧誘する為の5校を中心とした全国的なネットワークを構築します。(入口対策)
  - ・船主協会主催の高専・商船学科5校合同進学ガイダンスに積極的に参画します。
  - ・グローバルな環境にある外航船舶職員として必須であるTOIEC500点を在学中に取得する為の受験費用補助等の支援活動を検討します。
  - ・外航・内航海運企業に船舶職員として就職する学生を積極的に支援します。(出口対策)
  - ・既卒若年会員等の転職をサポートする為の無料船員職業紹介事業を促進します。
- (2) 5商船系高専の商船学科の養成定員200名を維持する為の活動を行います。
  - ・一昨年5校同窓会と全船協が共同で対応したP200(養成定員2

00名維持)運動を継続しながら第3期海洋基本計画に沿って柔軟に対応します。

- (3) 5商船系高専校内練習船代替建造について、平成30年度から具体的な検討に入る建造計画を学校及び高専機構の意向に沿い、文科省及び国会関係者への支援要請の活動を行います。
  - ・船齢30年での代替建造とすれば、建造予定年は大島丸2023年、弓削丸2024年、鳥羽丸2024年、若潮丸2025年、広島丸2027年となります。
- (4) 海洋思想の普及活動について関連団体と連携しながら積極的に行います。
  - ・船長協会が主催する「子供たちに海と船を語る」、船主協会が主催する「海と日本プロジェクト」、等のプロジェクトに積極的に参画します。

私は会長として、全船協の活動方針を明確に内外に発信していきます。会員の皆様が全船協の日々の活動を意識し、日本国民の生活インフラを支える全船協の会員として誇りが持てるような会の運営を推進します。基本財産の保全を図り、会員を維持し、活性化を図って参ります。我々を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、全力を傾注し、この身を粉にして日本国海運の為に精進して参りますので、会員の皆様方のご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

以上

## 平成30年度通常総会議事録

- 開催日時 平成30年6月8日(金) 14時00分～16時00分
- 開催場所 東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
一般財団法人 日本教育会館 会議室704号
- 出席者 総正会員数の議決権の数 1,019名  
定足数 510名  
出席正会員数494名(本人出席28名、委任状出席464名)  
議決権のある出席正会員総数 525名(書面表決31名を含む)  
実出席理事 7名  
実出席監事 2名  
理事・監事以外の実出席者 19名

### 実出席者氏名

#### ① 出席理事

赤嶺正治、岩田仁、及川武司、小木曾順務、柏木実、田島孝一、望月正信、

#### ② 出席監事 渡部英利、本望隆司

#### ③ 今回新たに役員として立候補している出席者

飯島壽、加藤信一、酒迎和成、田中三郎、土屋正徳、三輪史郎、師富潤、吉村重登

#### ④ その他の正会員出席者

相川康明、内田成孝、大類健三郎、小甲和己、亀山道義、川越義人、川島弘行、城戸裕晶、木村和也、七呂光雄、水野博之、

### 4. 議長の選出及び、議事録署名人の選任、定足数の報告

定刻14時に副会長赤嶺正治が開会を宣し、続いて定款第17条に基づく議長の選出を諮ったところ、事務局一任に発生があり、出席者の賛成多数により、事務局は正会員水野博之氏を推薦し、承認され、議長に就任した。

水野博之氏が議長席に着き挨拶の後、書記に川越義人氏を任命した。その後、川越書記から本日の通常総会は定款第18条の定足数510名を満たしている旨の報告をしたので議長は本総会が有効に成立した旨を宣した。

その後、議長が議事録署名人を選任したい旨を述べたところ事務局一任の発声があり、事務局は大類健三郎氏、及び城戸裕晶氏を議事録署名人として推薦し、全会一致で選任された。

### 5. 物故者への黙祷

及川専務理事より6名の物故者の報告があり、出席者全員で黙祷を捧げた。

### 6. 議事に先立ち、岩田会長より一年を振り返る挨拶があった。その後、議案審議に入った。

第1号議案 平成29年度 事業報告(案)について

第2号議案 平成29年度決算(案)について

議長は、標記の議題について、事務局に一括して説明を求めた。専務理事及川武司が、当期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における事業状況を事業報告書・決算報告書及び附属書類により詳細に説明・報告し、さらに平成29年度公益目的支出額及び公益目的財産残額について説明し、下記の書類につき承認を求めた。

- ① 貸借対照表 ② 正味財産増減計算書 ③ 事業別正味財産増減(税込・累計)  
④ 収支計算書 ⑤ 財産目録 ⑥ 財務諸表に対する注記

更に監事本望隆司は、上記書類を監査し、正確適法かつ妥当であることを認めた旨を報告した。議長が賛否を議場に諮り、賛成多数で承認可決した。

### 第3号議案 役員の選任及び退任について

議長は、標記の議題について、事務局に説明を求めた。

専務理事及川武司から、現役員は本總會をもって任期満了に伴い解任されるので本總會の決議により選任することが提案された。続けて本議案の役員候補者は、平成29年度第2回臨時理事会の決議内容を基に役員候補者選考委員会にて各区分定数2名にて調整するも鳥羽商船高専商船学科卒業者区分のみ解消できず、そのまま總會に上程された。本件については總會議事を円滑に運ぶため、定款に基づく投票による役員候補者選任方法にて取り進める、との説明がなされた。理由は各区分の公平・平等性を第一に各区分理事2名の合計12名とした。議長の指示により理事候補者13名全員と監事候補者2名が記された投票用紙が出席者全員(議長を除く)に配布され、記名投票にて投票が実施された。投票終了後、役員に立候補していない渡部監事と川越書記により開票作業が行われ、川越書記から候補者それぞれの得票数が発表された。理事候補者については各区分上位2名(区分富山 及川武司、土屋正徳、区分弓削 柏木実、三輪史郎、区分鳥羽 小木曾順務、飯島壽、区分広島 望月正信、師富潤、区分大島 酒迎和成、吉村重登、区分各校 松見準、田島孝一)が決定し、監事候補者については区分富山 本望隆司、区分鳥羽 加藤信一が決定した。

この結果を踏まえ、定款第19条には理事監事選任議案の決議では候補者ごとに決議すべしとあるが、開票結果を踏まえ一括して理事12名、監事2名を選任したい、と議長より提案したところ賛成多数により第3号議案は可決し新役員が選任された。

### 第4号議案 その他

特になし

#### 7. 閉会

以上をもって議案を終了し、次いで専務理事及川武司から報告事項平成28年度事業計画及び予算を説明した。岩田前会長よりの挨拶の後、議長は閉会を宣し16時00分散会した。

上記の議事の経過及びその結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第22条議事録の定めに従い、議長、出席正会員2名及び代表理事がこれに記名押印する。

平成30年6月8日

議長 水野博之



議事録署名人

(代表理事) 岩田 仁



議事録署名人

(正会員) 大類 健三郎



議事録署名人

(正会員) 城戸 裕晶



総会終了後、同教育会館 902 会議室にて平成 30 年度第 1 回臨時理事会が開催され、業務執行役員の選任が行われ、会長に酒迎和成（区分大島）氏、副会長に望月正信氏（区分広島）、専務理事に土屋正徳氏（区分富山）が選任され、会長酒迎氏は事務局長に田島理事を指名し新執行部が発足した。

又、懇親会が 17:00～同会館喜山倶楽部にて来賓国土交通省海事局海技課船員教育室長、一般社団法人海洋会会長等をお迎えし、開催され盛会裏に終了し、総会及び臨時理事会、懇親会と当日の予定はすべて終了した。



右から立って開会を宣言する赤嶺副会長 中央 岩田会長 左及川専務  
役職はいずれも当時

## 練習船実習生への食料支給の継続を 要請します

帆船日本丸・海王丸をはじめ日本国の船員教育に必須である練習船の運航を一元的に管理運営する（独）海技教育機構は、国土交通省海事局の指導の下、平成31年度から練習船実習生から食費を徴収することを関係者との協議を終えて実施の方針であることを（独）海技教育機構から直接説明を受けましたが、全日本船舶職員協会としては到底受け入れることは出来ません。食費徴収という唐突な政策方針に反対します。

平成19年4月に成立した「海洋基本法」の規定に基づき、平成20年に第一回海洋基本計画が策定され、その後5年毎に見直しが行われており、平成30年5月15日に第三回海洋基本計画が閣議決定されました。国土交通省海事局が発行する海事レポート2018には、海事人材の確保・育成の重要性について「四面環海の我が国において、外航海運は輸出入の99.6%、内航海運は国内貨物の約4割、産業基礎物資の約8割の輸送を担っており、海運業は我が国の経済、国民生活に大きな役割を果たしている」又、「国土交通省では、本章に記述する取組を通じ、海運・造船・海洋開発の各分野について、海洋立国日本の要となる海事人材の確保・育成を強力に推進している」とも述べています。

平成20年以降、官民をあげて船員教育の振興、若年者の海への誘いを実施しています。船員教育・商船教育機関の現場は学生募集に地道な努力を傾注している毎日です。このような官民の共通認識の中で船員教育・商船教育に必須である練習船実習生からの食費徴収という政策変更は理解できないところであります。戦後長きに亘り一貫して実習生は船員法上は船員ではないが、船舶という陸上から隔離された特殊環境の中にある乗組員に準じ、みなし船員として食料は支給されてきた歴史があります。この政策変更は教育現場において、学生募集にも悪影響を及ぼすと憂慮される事態となっています。

全日本船舶職員協会は全国高等専門学校（商船学科）5校の卒業生及び船舶職員・海技者の参加する団体であり、船員教育・商船教育の振興を主たる目的とした一般社団法人であります。（独）海技教育機構（旧航海訓練所）の航海実習訓練のお蔭で一人前の船舶職員として今日があり、感謝しているところです。今後も船員教育は、国策として従来通り練習船実習生への食料支給の継続を要請します。

一般社団法人全日本船舶職員協会  
会長 酒迎和成

# 海洋立国の危機

—練習船実習生に実習経費負担—

山本 勝 (東船大N15)

いま、海技教育機構の練習船で、乗船訓練を受ける実習生から食卓料実費を徴収する動きがひそかに進行していることはご存じだろうか？

平成27年度の数字だが、同機構の練習船で乗船実習を行った延べ人数は2,128人、乗船延べ日数21万3,069日間に支給された食卓料は2億2千万円弱で、この食卓料（食費相当の経費）をすべて実習生の個人負担にした場合、一人一ヶ月約3万5千円、これに現在も実習生負担となっているクリーニング代その他諸経費5千円を加えると、ひと月当たり約4万円を払わないと乗船実習が受けられなくなるということだ。

ご存知の通り、商船乗組員は船員法により乗船中の食料は船主が支給することが決められており、練習船はこの船員法の規定を準用するかたちで、乗組員も実習生も食料は国の支給とされてきた。

今回の方針転換は、ひとえに船員教育機関としての(独)海技教育機構のひっ迫する資金事情によるものであり、国全体の財政事情を反映して財務省から突き付けられる厳しい経費削減にこたえるため、いよいよ人材育成の対象である実習生にコスト負担を求めざるを得ない状況に至ったというのが理由のようだ。

平成28年、海技大学校、海上技術短期大学校(3校)、海上技術学校(4校)を傘下におく(独)海技教育機構と、練習船5隻を運用する(独)航海訓練所が合併してあらたに出発したのが(独)海技教育機構であるが、平成29年度の国からの交付金は73億円で、平成13年度の両法人の交付金を合わせた額より31億円(30%)が削減されている。この73億円に日本人船員育成を名目としてトン数税制の見返りに海運会社から支給される約5億円を合わせても、機構の中期計画で必要とされる予算額に6億円近く不足、練習船の修繕の先送り等により対応せざるを得ない状況という。

苦しい台所事情はあるとして、ちょっと待ってほしい、と思うのは筆者だけだろうか？

海洋立国日本を標榜し、日本人船員の確保育成

を政策の重要な柱に据えたはずのわが国において、海洋人材育成の現場である練習船教育にまでシワ寄せが及び、育てるべき人材にコスト負担を強いらざるを得ないというのは、およそその政策になんの裏付けもないことが証明されたと言えまいか。

人権上および業務遂行上の必要コストとしてとらえられたからこそ船員法において船主に支給を義務付けたのが食料費であるはずだ。練習船も洋上での訓練もふくめて一定期間を船上ですごしてはじめて実習の効果が得られるという特殊な環境での人材教育であることを念頭に上記の規定が準用されてきたはずであり、今回の方針転換については、こうした点もふくめた相応の理由の説明が社会に対してなされる必要があるのではないか。

公的組織における受益者負担の拡大が声高に叫ばれる状況もあり、今回の食卓料の個人負担に始まって、いまの練習船教育にかかわる必要経費にまでこの単純な受益者負担の掛け声に乗って拡大する恐れもあり、こうなればただでさえ船員のなり手が減少するわが国にあって、ますます船員離れが進むことを憂慮するものであり、その意味で国の施策とは裏腹に、海洋立国日本は危機に瀕することになることを心配する。

今回の食卓料個人負担の案件は、昨年6月27日に公表されたものであるといい、計画では平成31年度から実施、本年度6月ごろの予算要求に盛り込まれることになると聞く。

筆者が本件を仄聞したのはごく最近のことであり、海事関係者もほとんどこの事実について認識がないのが現状のようである。

機構としては、直接の関係者先である、東京海洋大学、神戸大学、高専との協議は継続中であるとしているが、問題はこれら教育機関のみならず、日本の海技者教育をどうするのかといった観点から、船社を含めた海事クラスター全般におよぶものとして、ひろく議論の輪を広げるべきだと考え、今回知りえた事実を披露する次第である。

諸賢者のご意見を賜れば幸いである。

## 「どうして海のしごとは大事なの？」

前副会長 赤嶺正治

2018年6月28日、「海のしごと」編集委員会により標記をタイトルとする書籍が成山堂書店から出版されました。このタイトルから、この書籍の出版目的がお分かりになると思います。四面環海の海洋国日本に住む私たちは、海が無い生活を想像することができません。この海での仕事とその必要性を多くの青少年にお伝えし、海の仕事に夢と希望を持っていただくことを目的としています。この目的は全船協の活動方針のひとつでもあり、私自身もこの趣旨に賛同し編集委員会

のメンバーとなって「海洋調査」について私の経験を述べさせていただきました。

この書籍の特徴は、現場で活躍する人たちの豊富な体験談ややりがい等が多く掲載されている点で、正に生きた参考書とも言えます。

この生きた参考書を通じ、今後少しでも多くの青少年が、海に興味を持ち、海への道に進まれることを切望し、そして、日本人船員の人材育成・確保に積極的に取り組んでいる全船協の活動の一助になることを願っています。下図は当該書籍の「海洋調査」巻頭のページです。



# 三等航海士

富山商船航海科 59 期

たかはし しげのり  
高橋 尚徳

昭和 44 年 3 月卒業。4 月の国家試験にも  
どうやら合格、同級生の先陣を切って 6 月 7  
日北米航路の材木船（総トン数 8,532 トン、  
今思えば案外小さな船だった）に乗船。

有給休暇後の乗船でも最初はしばらく戸  
惑うのに、社船実習終了後 9 ヶ月ぶりの乗  
船である。それもいきなりの法定職員たる三  
等航海士としての乗船である。

今では考えられないが、当時は娘一人に婿  
三人というような状況で我々は引く手数多  
の際の卒業生である。入社講習時に四等航海  
士での乗船を希望したが、会社は「君達は社  
船実習を経験しており、そんな勿体無い事は  
出来ない」との有難いお話である。

前任三等航海士は全日本海員組合規約一  
杯の 1 年 6 ヶ月乗船しており、どうしても  
下船させなければならず、さりとて適当な交  
代者も見つからず、やむなく素人みたいな人  
間を手配したのであろう。

これは我社だけではなく、当時はかなりの  
船会社でもこうした実情で、いきなり三等航  
海士として乗船した同級生もかなりの数い  
たことであろう。乗船後の初出港は夕方五時  
頃であったと思う。S/B 終了後、前のペー  
ジを参考にしながら慣れない航海日誌を書  
き終えた、と思ったらすぐに初当直である。  
それも夜間の初 SINGLE WATCH である。  
当時は GPS など夢のまた夢のような話で  
ある。

沿岸航海の基本は CROSS BEARING  
であるが、どの燈りがどの燈台なのはさっぱ  
り判らない。BEARING も 2 本取るのが精  
一杯である。三角定規の使い方も覚束ない。

初当直を心配して船橋にずっと詰めてい  
てくれた江戸っ子船長は「いいか、3RD  
OFFICER。BEARING ってえのはな、3 本  
入れるもんだっ。」「はいっ」と返事はしたも  
のの内心では「そんなこと船長に言われなく  
ても判ってますよ。ただ入れられないだけジ  
ャン。」BEARING も入れられない三等航海  
士は樹から落ちた猿以下で、この小心者の三  
等航海士は、大げさに言うと飯も喉に通らな  
いような心境に陥るのである。

翌日の朝の当直を何とか終え、昼食もそこ  
そこに船橋へ。BEARING の練習である。  
人様の当直であり、見張りの必要もないので  
只管 BEARING の練習である。

夕方 4-8 直には野島崎通過、そうすると  
米国西岸まで陸地を見ることがなくなって  
しまうので夕食を終え再び船橋へ。またもや  
BEARING の練習である。

おかげで下船までにはなんとか BEARING  
も入れるようになり、1 年 2 ヶ月後有給下船。  
次の乗船は森村 桂の「天国に一番近い島」  
で有名なニューカレドニア島からのニッケ  
ル鉱輸送である。

夏は濃霧、冬は荒天続きで太陽の顔を殆ど  
見ることがなかった北米航路と比べると、こ  
んなにいい航路が世の中にあったのかと思  
うような南方航路である。極端なことを言え  
ば台風だけに注意していればいいような航  
路である。

ところが困ったことには、この三等航海士  
は天測が出来ないのである。

夏は霧、冬は荒天の北米航路に 1 年以上  
乗船したおかげで、この間の天測はたったの

三回。その伎倆たるや航海訓練所練習船の実習生以下である。天測三回のうち二回はスターサイト。8-0 直の三等航海士が何故スターサイトを行ったかといえば、サマータイムと夕方の一等航海士への食事交代のせいである。当時はこの食事交代が慣習化されており、しかもサービスであった。もう一回は何とか水平線が確保でき、雲の切れ目から顔を出した際の太陽観測。

天測も出来ずにどうして正午位置を決定できたかという、ノルマンディ上陸作戦にも使用された（とかいう）ロランのおかげである。（ロラン、レーダーの操作は何とかできた。）

余談であるが、ある航海中ロラン位置の線が一本しか利用できず、4日間 D.R. で航走したことがある。太陽観測の一回がこの時の航海である。

ロランと組み合わせ位置決定。早速船長に「キャプテン、ポジション出ました」「おー、そうか」とたったの一言であったが、そのときの船長の嬉しそうな顔が今も忘れられない。

話を元に戻すが、正直者のこの三等航海士は船長に「前の船で天測をやったことがないので、私の位置はロランの方が正確です。」と申告したものの、大正生まれの老船長は文明の利器たる電波計器を信用せず「3RD OFFICER、そりゃ天測の方が絶対正確だよ」と一蹴。斯くして一日目の正午位置は十数マイルの誤差発生。またしても小心者のこの三等航海士は飯も喉に通らないような心境に陥り、翌日より STOP WATCH 片手に 15 分程度の間隔で天測の猛特訓開始である。

このような涙ぐましい努力(?)の甲斐あり、何とか人並みに BEARING も天測も出来るようになったと思う。

最後に細やかな自慢話を一つ。最後の三等航海士として乗船中、ある甲板手曰く「今ま

でで 3RD OFFICER が計算一番速かったかもしれない」。

但し、その精度についての言及はなかった。新米三等航海士時代の懐かしい思い出でした。



# 特別授業について

内海水先区水先人 会員 栗阪 肇

## 著者略歴

1997年09月 神戸商船大学乗船実習科修了

2017年02月 内海水先区水先人会入会  
航海士として陸上勤務（2回）とVLCC、LNG船、自動車船、コンテナ船、チップ船、鉾炭船と16隻。船長として石炭船、ばら積船（ハンディサイズ、パナマックス）と4隻に勤務。

## 目次

- 1) はじめに
- 2) 特別授業開催の経緯
  - 2-1) 富山高専・大島商船高専
  - 2-2) 庄小学校
- 3) 授業内容
  - 3-1) 富山高専・大島商船高専
  - 3-2) 庄小学校
- 4) サービスラーニング
- 5)モチベーション
- 6) 水先人を志した理由
  - 6-1) 鷺羽山
  - 6-2) 転職
  - 6-3) 受験
- 7) 現役学生の皆様へ
  - 7-1) 色々なものに興味を持ち、視野を広げる
  - 7-2) 付加価値の高い職業人に
- 8) おわりに
- 9) 参考引用文献

## 1) はじめに

著者は、ボランティアとして富山高等専門学校商船学科（以下「富山高専」）において過去3回、大島商船高等専門学校（以下「大島商船高専」）において1回、岡山県倉敷市立庄小学校（以下「庄小学校」）において3回の特別授業を行いました。

ボランティア活動を通して気が付いたことを、会員の皆様、現役学生の皆様にお伝え致します。また、前回の投稿「水先修業生について」会報137号 2018年5月 春季号の補足説明として「6）水先人を志した理由」を追記致します。

## 2) 特別授業開催の経緯

### 2-1) 富山高専・大島商船高専

船長としての初実職は石炭船でした。富山新港にある北陸電力専用バースに着岸していたある日、船橋において書類作業をしていました。たまたま本船右舷側を見ると、カッター2艇が往復しておりました。新入生のカッター訓練でした。

かつて新入生であった20年近く昔の自分を思い出し、学生時代からの長年の夢「船長」となったばかりの嬉しさとが重なり、気が付くとカッターを追いかけて本船から専用バース北隣にあった艇庫まで移動しておりました。

艇庫に到着すると、訓練を終えてカッターを陸揚げしていた教職員と新入生とに会

いました。作業服・肩章姿の著者を見た先生方は、すぐに著者が隣の石炭船船長であることに気が付きました。しばらく話をしていると「次の休暇中に、ぜひ富山高専に来て下さい」と誘われました。初回が2013年7月、次回が2017年5月、第3回目講義が2018年1月でした。

2018年4月、特別授業の窓口であった先生が大島商船高専へ栄転となられ、富山高専に加えて大島商船高専でも講義を担当してもらいたい依頼を受けての開催が、2018年6月でした。



大島商船での授業風景

## 2-2) 庄小学校

庄小学校は著者の母校です。一等航海士であった2007年、ちょうど次女が同校の1年生であり、クラス担任の先生から次女に「お父さんが休暇中になったら、特別授業をしてもらいたい」旨の伝言を受けておりました。

かつては農村部であったため、田舎の学区では外航船員はととても珍しい職業でした。そのため、外航船や世界の寄港先について話を聞きたい旨の話はよくありましたので、短い時間で少人数の生徒に話をする機会と捉えておりました。しかし、体育館を会場

として1年生全クラスを対象とする大きなものでした。当時の校長先生のご親戚が、伊勢三河湾水先人でいらっしゃったことも授業開催への大きな理解となりました。

翌2008年に第2回目授業を開催し、第3回目授業(2009年)は乗船のため日本船長協会(以下「船長協会」)に講師依頼を行いました。著者の仕事の関係で翌2010年、家族で倉敷市を離れたため特別授業が長い間中断しておりました。水先人として開業し、故郷に帰ってきたため、再び特別授業を開催したのが2018年2月(庄小学校としては第4回目)でした。

## 3) 授業内容

### 3-1) 富山高専・大島商船高専

現在、各水先区水先人会や日本水先人会連合会から三級水先人のリクルート活動として、広報担当者が商船系高専5校へ説明会のため赴いています。従って、リクルート(学校)説明会と内容が重複しないように、元・外航船員としての経験談を中心に講義を進めました。

2018年6月の講義で使用したテキストは、日本船主協会(以下「船主協会」)からDVD「日本の海運」、DVD「海の上のプロフェッショナル」を。日本海事広報協会からパンフレット「SHIPPING NOW」をそれぞれ無償で提供してもらいました。本会報や旧・商船大学の同窓会報である「海洋」の一部内容も良い参考資料となりました。

講義終了後、全ての学生から講師である著者と船主協会宛に同内容の感想文を提出してもらいました。感想文には、追加の質問があれば明記してもらいました。過去の

質問内容は、私がかつて学生時代に将来へ抱いていた疑問（船員の実情）とほぼ同じでした。

以下、2018年6月航海コース4年生全員、航海・機関コース5年生希望者、合計45名を対象とした講義中での質問事項です。

尊敬する先輩。

海上職に就くために最も大切なこと。

早く仕事を覚えるコツ。

船内共通言語。

TOEIC、海技試験の勉強方法。

船上保守整備にかかる時間。

水先人と船長の違い。

### 3-2) 庄小学校

初回と第2回目とは個人的なボランティア活動でしたが、第3回目授業（2009年）は乗船のため船長協会から代理講師2名に來岡して頂いたのをきっかけとして、それ以降は船長協会主催「子供達に海と船を語る」事業となりました。第4回目授業で使用したテキスト類は、全て船長協会が準備をしました。

事前に小学校と講義内容について打合せを行い、将来の夢を持つことの大切さ、キャリア教育についての内容を依頼されました。

会場は体育館で、対象は6年生（139名）と5年生（134名）と保護者（希望者）でした。5年生では社会科の授業として海上貿易を学習しますが、まずその授業の補足説明を行いました。著者の小学校時代に憧れていた職業いくつかの話から将来の夢（職業像）、世界の国々（寄港地）等について紹介しました。キャリア教育については、

「新13歳のハローワーク」村上龍著 幻冬舎 の紹介をしました。

講義後、著者と船長協会宛への同内容の感想文（追加の質問）を生徒それぞれに提出してもらいました。中には、給料についての驚きの質問もありました。

なお、船長協会は「子供達に海と船を語る」事業について、講師と学校を募集しております。講師は、船長協会会員以外の方でも可となっております。

### 4) サービスラーニング

目白大学人間学部 黒沢幸子教授ほかの研究論文によると、心理学を専攻する大学生を子供たちの心理的支援のためのボランティアとして小・中学校へ派遣すると、学生の変化・成長は、ボランティア活動を経験しない学生に比べて大きくなる可能性が判明しました。主な変化・成長は「学生自身の人間的变化・成長」、「現場での実践から得た学び」、「授業から得た学び」でした。また、米国における研究では、ボランティア活動と教科学習（学校での授業）とを結びつけるサービスラーニングの経験は、企業が採用にあたって求める資質（責任感、協調性、創造性など）に有効であるため、2004年、文部科学省ではボランティア活動を含む体験活動をキャリア教育に取り入れる有効性を指摘しました。

アルバイト・学外実習・インターンシップなどの活動においては行動マニュアルが用意されていたり、活動内容が見学や指示に従う内容に限定されていたりすることが多いのに比べ、心理的支援のためのボランティアは目の前の児童生徒に対して、臨機

応変に援助する即戦力であることを要求される場面が多く、しかも多忙な現場教師からは具体的指示が得られないことも多いことも、学生の変化・成長が大きくなる要因と指摘されています。

心理学と、会員の皆様がかつて学ばれた、或いは、現役学生の皆様が現在学ばれている専門分野とを単純に比較することは乱暴ですが、参考となる点はあるのではないのでしょうか？ 「海洋」に発表されていた、東京海洋大学海事普及会が 2017 年 7 月に行ったポートパーク広島での活動報告の感想では、心理的支援のためのボランティア活動の研究結果に近いものであったと著者は読み取りました。東京海洋大学海事普及会とは、東京海洋大学（旧 東京商船大学）の課外活動団体（部活やサークルのこと）です。海洋工学部学友会に正式に所属し、海と船の事を多くの方に知ってもらうための活動をしています。ホームページも開設しております。

<http://kaijifukyu.main.jp/index.html>

本会報に発表された各校においての「J-CREW プロジェクト～やっぱり海が好き～」、オープンキャンパスでの学校生活の説明、練習船上での説明において現役学生の皆様が主に中学生を対象としてボランティア活動をされた記事を拝読し、深い感銘を受けました。これらの活動について詳しい感想はないものの、担当された学生の皆様はアルバイト・学外実習・インターンシップでは習得できない貴重な経験ができたのではないのでしょうか。

## 5) モチベーション

モチベーションとは、やる気、動機、意欲のことです。誘因、動機付けとも言います。モチベーションは、高い時であれば低い時もあり、日々変動するものです。変動するものなので、「高いから良く、低いからダメ」という考えではなく、やる気を維持・持続させていくことが大切になります。

就職活動から新入社員研修までを例にとると、会社説明会への参加申し込みをする時点で「モチベーションの変化は、関心・興味が芽生えます」。筆記試験や面接試験を受験すると「よく強い興味」「受かりたい」「絶対に受かりたい」とモチベーションが高まります。内定通知をもらおうと「やった！」とぐっと高まり、それから入社前研修（乗船実習）までの期間は「少しトーン・ダウン」し、入社前研修では「再びやる気が芽生えてくる」。入社式・社長訓話では「最初のピーク」を迎え、新入社員研修では「よし、同期で一番になるぞ！」となります。モチベーションは内定を受けた時の興奮から時間の経過とともに少しずつ落ち着き、当初の盛り上がりから徐々に冷静になり低下します。その後、入社日が近づき、もう一度徐々に上昇していきます。就職後も同じで、モチベーションは個人差がありますが増減を繰り返します。

著者の例では、過去のボランティア活動では高専生や小学生と接することにより自身の学生時代の初心に戻る機会となり、モチベーションの水準がその前後で高くなりました。特別授業中の質疑・応答において、時には即答できないことがあり、宿題として持ち帰り図書館を利用したり、同僚に聞いたりして学習し、後日返答する作業を通

して知識を増やすことができたからからです。感想文の中には、学生・学校から感謝されることもあり、モチベーション向上の一因となりました。日々の業務に没頭し、ともすれば忘れがちな「初心（入社・開業（入学）当初の高いモチベーション）」をもう一度思い出す絶好の機会となったのがボランティア活動でした。仕事への慣れや疲れから一旦落ち込んだ覚醒（元気）を取り戻し、あらためて仕事の方向性を再確認し、仕事への情熱を維持する持続性（根気）を刺激することができました。

## 6) 水先人を志した理由

### 6-1) 鷺羽山

この章だけ話題が異なることをお許し下さい。前回の投稿「水先修業生について」の補足を致します。

著者の生家は、岡山県倉敷市にあります。生家から瀬戸内海までは車で1時間の距離です。祖母の故郷が瀬戸大橋の架かっている香川県櫃石島で、橋が架かる前（幼少期）は、特に夏休みは海水浴と墓参りを兼ねて祖母と島をよく訪れていました。

高校生の時、当時は関東には近いうちに地震が来ると聞いておりましたので、神戸商船大学を受験しました。実力が及ばず3回（推薦・前期・後期）とも不合格となり、翌年に何とか合格することができましたが、阪神・淡路大震災で被災しました。最初の会社から内定を頂いた直後、祖母の島のすぐ北側対岸にある鷺羽山展望台（瀬戸内海国立公園）へ登りました。そしてお願いをしました。「必ず一人前の海の男となってこの瀬戸内海に戻ってきます。それま

での間、応援して下さい。世界のどこの海にいても、安全に航海ができるように見守っていて下さい」と。瀬戸内海へ戻るとは、瀬戸内海の水先人になるという意味でした。何もなければ最初の会社を定年まで勤め上げ、第二の職業として水先人になる計画でした。



鷺羽山展望台からの眺め



鷺羽山展望台から頂上を望む

### 6-2) 転職

最初の会社の最後の船を下船して退職するまでの7ヶ月間、悩みに悩みました。この会社に在籍し続けると学生時代に描いたキャリア・プランを実現することが難しくなったからです。たまたま職場委員（労働組合）に同期の一等航海士と一等機関士がいたので、彼らとも相談しました。どうしても自分自身に嘘がつけなかったのでしょ

う。学生時代からの夢であった外航船員を続けることにしました。

退職願いを提出して、東京駅から新幹線に乗車しました。倉敷へ帰る途中、ふらっと新神戸で途中下車しました。母校へ立ち寄り、たまたま学生時代にお世話になった恩師に会いました。退社の経緯を説明すると叱られました。「君は、会社員としては失格だ！」その教授は、すぐに次の就職先を探して下さいました。

2社目入社の際は「3隻目で船長となり、その後は陸上勤務と海上勤務とを往復する」でした。2隻目に乗船中、ちょうど大分からシンガポールを経由してブラジルへ向けて南アフリカ喜望峰を過ぎた頃に会社から本船へ連絡がありました。「次は船長として勤務するのではなく、約1年間陸上勤務を行い、後任者ができたら船長として乗船。但し、船長としての勤務は1隻のみでその後はずっと陸上勤務」そんな内容でした。ブラジルの次は再び大分でしたので、大分で下船・退職を決意しました。長いこと勤めていた会社を辞めると、次のハードルが低くなるのか、すぐに決断ができたのです。どうしても40才までに船長になりたかったのです。当時38才であったので、かなり焦っていました。下船直後、退職前でしたが2社目を紹介して頂いた恩師に会いに行きました。会う目的を告げず約束だけ取った時、先生は著者が退職（転職）することを感じていたそうです。

3社目は上長に紹介して頂きました。大分からシンガポールを経由してブラジルに向けて出航する直前に交代下船された船長の最初の会社が3社目でした。船長がかつて三等航海士として勤務されていた時の機

関長が役員となられており、電話で著者を紹介して頂きました。入社の際は「船長として海上勤務」することでした。

### 6-3) 受験

2016年海技振興センターの選抜試験、いわゆる水先人養成学校の入学試験を受験した時、我が家に大学受験生と高校受験生がいました。著者を含めて3人の受験生がいたので、妻は大変だったと思います。一番勉強をしなければならなかったのが、著者だったからです。

著者はただ運が良かっただけなのかもしれません。選抜試験、つまり水先教育センターの入学試験では、全国48名のところ定員割れの25名が受験しましたが、合格できたのは24名でした。その中、水先人試験（一次）に合格できたのは22名。水先人試験（二次）と水先教育センター卒業試験には残り全員合格できたからです。（全員が水先人試験、卒業試験に合格する年度もあります）。また、人生のピンチになった時、たまたま周囲に力になって下さる先輩や知人が多数おりました。心が折れる寸前まで追い込まれても、人生の敗者復活戦を勝ち進み、ここまで立ち直ることができたのは奇跡としか言いようがないからです。

船員最後の船を四日市にて下船後、久しぶりに鷺羽山に登りました。その時、鷺羽山が教えてくれました。「君には、まだまだ足りないことが多くある」そうです。鷺が羽を広げた姿から鷺羽山と名付けられたのですが、それまで陸上から海上から、JR瀬戸大橋線を走る特急電車の車窓から何十回となく鷺羽山を眺めていたのですが、著者

にはどうしても鷺が羽を広げた姿には見えなかったのです。まだまだ自己研磨が足りないのが、その理由だと理解しております。これからは人生の出発点である瀬戸内海で、先生である鷺羽山の膝下で、商船学校時代の初心を忘れず、引き続き「一人前の海の男」を目指して30年余りの人生修行を続けます。著者はまだ44才です。修行の成果次第では、人間として、水先人として大きく成長できる可能性が残っております。水先教育センターで同期となった水先人達は、著者よりも一回り上が多数でした。著者にとって水先人という職業は第二の職業ではなく、これまでの会社員時代を準備期間と捉えて「現役の職業」です。

## 7) 現役学生の皆様へ

### 7-1) 色々なものに興味を持ち、視野を広げる

会社員時代(2回の転職)の経験については、お薦めできません。家族に心配をかけるからです。給料も半分になりました。しかしながら、30才までの転職は「有りかな」と考えております。新卒でご自身に合った会社・職種に出会えれば良いのですが、難しい場合もあるからです。大きな会社・組織へ属すると、必ず異動(転勤)があるので希望する職種へ就けない期間もありますが、予期せぬ職種(部署)を経験して新しい発見や新しい考え方(技術)が身に付き、会社員として知識・技術の幅が広がることも確かです。

人生の大半を過ごす仕事をしている時間は、もちろん給与を稼ぐ目的もありますが、自分が仕事を通じて社会(世界)とどのよ

うにつながっていくのか。新たな友人を作る場。生きていくため必要な充実感・人間としての誇りを得る機会。周囲の人に感謝され、社会に必要とされる場。仕事を続けるために、努力・勉強・訓練を行うなど、仕事を通じてどのように自身が成長するのか、その後の人生形成に大きな影響を与える貴重な時間です。

富山高専・大島商船高専・庄小学校における特別授業では、「色々なものに興味を持って下さい」と出席された学生(生徒)に毎回お伝えしておりました。同じ仕事をすることにしても、視野が広い方がより良い仕事ができると思っています。本人の付加価値が大きくなる利点もあります。

また、皆様は学業など忙しいと思いますが、時間があればお友達と遊んで下さい。できれば、中学・小学校時代の友人をお薦め致します。同じ高専生だと、どうしても考え方が似る傾向があるからです。著者が転職(社)を与儀なくされたのは、遊びを通じて身につく心の余裕(あそび・広い視野)がなかったのが1つの原因ではないかと、最近になって気付きました。

もし将来の選択肢として水先人を希望されているのであれば、海上経験のない三級水先人コースへ進学するのも大きなチャンスです。新しい制度となって10年余り、多くの新卒三級水先人が、一部は二級水先人へと進級し活躍しております。内海水先区水先人会では、水先人希望者を対象として個別訪問(見学)を随時受け付けております。インターンシップ(就業体験)も用意しております。個別訪問・インターンシップをご希望の方は、広報企画課(078-332-7191)までご連絡下さい。



銀河丸



体験教室VLC CN号1



体験教室VLC CN号2

### 7-2) 付加価値の高い職業人に

ずいぶんと昔から我が国では「国際化社会」や「国際化〇〇」と叫ばれております。実は、皆様の学校と旧・商船大学が日本で最も国際化した教育・研究をしている学府です。文部科学省が管轄する様々な学校がありますが、乗船実習を通じて海外へ学びに出かけている学校は他にはありませんでした。昨今では、英文学科なので短期留学

している学校があると聞いております。

また、海技者でない分野に就職・進学希望される学生さんにもぜひ三級海技士（航海）（機関）を取得してもらいたいです。将来において、どこで役に立つかわからないからです。米国デューク大学の研究によれば、2011年度に米国の小学校へ入学した子供の65%は、大学卒業時には存在しない職業に就くそうです。AIやIoT（モノのインターネット化）の研究が進んでいる今日では、信頼できる研究結果でないでしょうか。

過去の会報では、OB 皆様の貴重な社会人（会社員）経験について投稿されております。それらも皆様の将来の大きな参考となります。本会報や「海洋」のバックナンバーを図書館で探してみてください。より深く知りたい時には、ぜひ事務局に質問をしたり、感想を送ってください。事務局は業務の一環として、皆様と先輩との橋渡しを行います。

海技者と同じように高度な技術や知識が求められる弁護士や医師は、彼らの国家資格で弁護士（検事）や医師にはなることはできません。しかしながら、海技士の国家資格は海技者全般になることができる万能資格なのです。船員はもちろんのこと、学校の先生、海技試験官、海難審判所、運輸安全委員会、海上保安官、船級協会、海務監督、工務監督、安全監督、サーベイヤー、バースマスター、ドックマスター、試運転機関長、フォアマン、船会社の陸上勤務職、水先人など様々です。（海技士の資格は必要でない職業もありますが、資格があった方が有利です）。

海技者以外の道へ進まれた先輩方としては、政治家、弁護士、医者、飛行機のパイ

ロット、飛行機の整備士、会社経営者、最近ではモデル、など多数いらっしゃいます。皆様の中から近い将来、宇宙飛行士となられる方、或いは、宇宙ビジネスで活躍される方がいてもおかしくはないと思います。そのためには、色々なものに興味を持ち続けて下さい。付加価値の高い職業人となって下さい。



バンクーバー日本語学校1



バンクーバー日本語学校2

## 8) おわりに

諸先輩方と比べて会社員経験が少ない著者ですが、現場経験が現役学生に少しでも役に立つことができれば、また、特別授業を通じて学生と意見交換し、お互いが成長（変化）し続けることができれば、今までお世話になった先輩方・学校関係者の皆様方から受けた恩を少しずつお返しできると、裏方の一人としての支援活動は始まったばかりです。

かりです。

今までお世話になりました多くの先輩の皆様方、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。そして、引き続きご指導のほどよろしく願い申し上げます。

## 9) 参考引用文献

『全船協』会報 136号 2018年1月 新春号 P.56-57, 62

『全船協』会報 137号 2018年5月 春季号 P.29, 47, 49, 51

『海洋』2017年3月号 P.50-53 東京海洋大学海事普及会 平成28年度の活動記録

『海洋』2017年10月号 P.39-45 海洋会中国支部 第6回海事講演会

『海洋』2018年3月号 P.49-53 東京海洋大学海事普及会 平成29年度の活動記録

『学校教育支援ボランティアを体験した学生の変化・成長 -その様相とキャリア教育の視点からの考察-』目白大学人間学部 黒沢幸子教授ほか

『モチベーションマネジメント入門』守屋・竹村共著 中経出版

『超モチベーション』中村誠司著 興陽館



帆船キャップ

以上

# 「探せ、地球の宝物！」

～地球深部探査船「ちきゅう」の概要と航跡について～

日本郵船株式会社

機関長（Chief Engineer）吉岡 哲也

## 1 はじめに

「海洋研究開発機構（Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology：JAMSTEC）」は、これまでの掘削船による深海域での科学調査掘削に比べ、更なる大水深海底下の堆積物や岩石の柱状試料（コア）を採取し、また掘削孔を用いた様々な計測を行うことにより、①地震発生メカニズムや地球内部におけるマントル物質循環の解明、②地球の歴史や地殻内生命の研究、そして、③石油に代わる代替エネルギーを抽出するための「統合国際深海掘削計画」を推進しています。この研究の中心的役割を担うのが、地球深部探査船「ちきゅう」であり、2001年にその建造が開始され2005年7月に完工しています。

本稿では、「ちきゅう」の概要及び特徴を、その建造からの監督業務、就航後の運航管理、そして、機関長として5年間乗船勤務した筆者の体験も織り交ぜてご紹介します。



「ちきゅう」概観（就航前試運転時）

## 2 深海科学掘削・研究の歴史

深海掘削の歴史は、1959年に米国で発表された「モホール(Mohole)計画」に遡ります。それは、地殻とその下のマントルとの境界面であるモホ面を貫通して、マントル物質を採取しようという深部掘削計画であり、モホ面に孔（ホール）を開ける計画ということから「モホール計画」と呼ばれています。1961年、「CUSS-1(カス1号)」と言う掘削船を用いて、カリフォルニア半島沖の水深3,800m地点で、世界で初めて深海掘削が行われ、掘削孔は深いものでも海底下200m程でしたが、数百万年前の堆積物とその下の玄武岩を採取し、深海底の掘削を実証するとともに海洋底が玄武岩からなることが知られています。

しかし、「モホール計画」は巨額な費用と高度な技術開発が必要なことから1966年に停止。計画が終焉に近づいていた頃、米国の四つの海洋研究所が「JOIDES」という組織を作り、新たな海洋掘削計画に取り組み始めていました。1968年、「深海掘削計画」が発足し、「グローマー・チャレンジャー号」による深海掘削が実施されています。

以来、1983年までの15年間にわたり続けられましたが、1975年からは、日本、フランス、西独（当時）、イギリス、ソ連（当時）が参加して、「全米科学財団(NSF)」主導の国際プロジェクトとなり、1985年には、カナダ、オーストラリア・韓国・台

湾連合、ヨーロッパ科学財団、中国が参加。この計画では、「JOIDES Resolution (JR号)」を用いて氷河時代の環境変動の解明や、恐竜絶滅の原因となった隕石衝突の実証などの多大な成果をあげています。一方、我が国においては、1990年頃から深海掘削の重要性が認められ、「海洋科学技術センター(現、JAMSTEC)」を中心に深海掘削技術開発が進められ、「深海地球ドリリング計画」として科学掘削船構想が提唱されました。そして、1997年、科学技術庁(当時)とNSFが、「統合国際深海掘削計画(Integrated Ocean Drilling Program: IODP)」へ発展させる議論を行い、これに参加意思のある国や地域の政策担当者を交えてIODPの構造や費用負担等について議論を重ね、2003年10月1日に発足。IODPでは、日米対等の原則の下、両国がリードエージェンシーとして、①日本がライザー掘削船(「ちきゅう」)を、②米国がライザーレス掘削船(「JR号」)を提供するとともに費用も等分に負担し、全体を円滑に運営する責任を持つ、その他の国は分担金を拠出することにより本計画に参加することになりました。

### 3 「ちきゅう」建造

1990年より我が国の建造する掘削船の性能や仕様について検討し、以下の基本方針を定めています。

- ① 掘削プラットフォームは、ジャッキアップ型、セミサブ型、船形(モノハル型)の3タイプに分類されるが、海域や水深に制限されることなく活躍することを考慮し、機動性に富む船形とする。

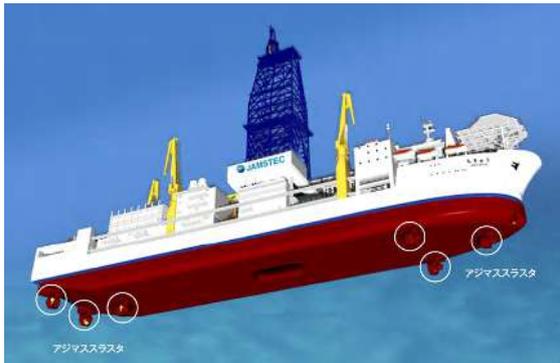
- ② 深部掘削技術(ライザー掘削技術)を用いるのは最大水深2,500mまでとする。更に、2,500mまでの経験を活かして水深4,000m級で掘削可能なシステムの開発を目指す。
- ③ ドリルパイプの全長は11,000mとし、水深4,000mの海底から7,000m下のモホ面への到達を可能とする。(つまりマントルへの到達を可能とする)
- ④ 船位の定点位置保持には6基の旋回式スラストを用いる。
- ⑤ 船外への汚染水などの排出を無くし、環境に優しい船とする。
- ⑥ 研究設備は、十分に広く静穏を確保し、また居住環境も快適なものとする。

建造は、2000年3月、「三菱重工業(株)」を主契約者とし、「三井造船(株)」が船体部分(推進機に関しては「川崎重工業(株)」)を、「三菱重工業(株)」が掘削部分を担当する建造契約が結ばれ、2001年4月25日、「三井造船(株)玉野事業所」において起工、翌2002年1月18日、地球深部探査船「ちきゅう」と命名され進水しました。

その後、艀装工事や各種機能試験を経て、2005年7月29日に就航しています。



進水式(三井造船)



船体外観図（船底方向より見る）

### 3.1 主要目及び一般配置

地球深部探査船「ちきゅう」主要目

全長×幅×深さ：210m×38m×16.2m

最大喫水：9.2m

高さ：船底から130m、海面から約121m

総トン数：56,752 GT（2010年に登録変更）

最大搭載人員：200名（2010年に50名増員）

航海速力：約12knots（約22km/hr）

航続距離：約14,800海里（約27,410km）

最大稼働水深（ライザー掘削時）：  
2,500m（将来計画：4,000m）

ドリルストリング長：10,000m（将来計画：12,000m）

定格発電容量：35,000kW（（主）5,000kW×6基、（補）2,500kW×2基）

アジマス・スラスト出力：  
4,200kW（5,710PS）×6基

サイド・スラスト出力：  
2,550kW（3,470PS）×1基

建造費：約600億円（年間運航経費：約120億円）

船体中央部には、ムーンプールと呼ばれる長さ22m×幅12mの開口部が設けられ、ドリルパイプやライザーパイプはこの開口部を通して海中に吊り下げられます。

居住区後部には4層からなる研究区画が併設され、海底下から採取されたコアには硫化水素（H<sub>2</sub>S）や炭化水素（HC）等の危険性ガスが含まれている場合がありますので、研究区画にはこれらに対処する安全設備が設けられています。また、推進装置には「ディーゼル・電気推進システム」を採用し、国家プロジェクトとして開発された世界トップレベルの小型・高出力・軽量の「(株)ADD」社製エンジンが8基搭載されています。

### 3.2 自動船位保持システム

掘削中は、船体と海底の孔口がライザーパイプやドリルパイプと繋がるため、本船は風や潮流、波等の外乱下において定められた地点に所定の精度で位置保持しなければなりません。このため、海底に船体を固定することのできない深海掘削においては、「自動船位保持システム（Dynamic Positioning System: DPS）」が不可欠です。

「ちきゅう」のDPSは、通常掘削状態において、最大風速23m/sec、潮流4.0knots、波高4.5mの外力を船首方向±30度以内から受ける状況で、水深の1.0%（水深1,000m以下では15m）以内に船位を保持できるよう設計されています。

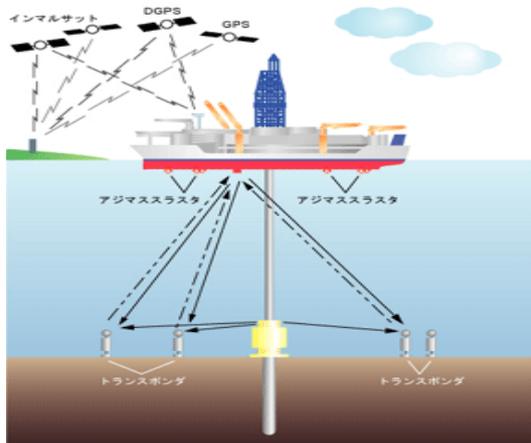
船底には6基のアジマス・スラストと船首サイド・スラストが1基装備され、アジマス・スラストは、6600V交流モータにより駆動される360°旋回可能なダクト付プロペラ（プロペラ直径3.8m）で、船首と船尾に各3基、三角形に配置されています。

船位を保持する為、細密な推力制御を要求されるアジマス・スラストには、電気推

進船舶として最新のシステムである、VVVF (Variable Voltage Variable Frequency) GTO (Gate Turn Off Thyristor) インバータ方式が世界に先駆け採用されています。(当時最も高性能な交流モータ制御であった東海道新幹線と同様のシステムを初めて船用に採用しています)



アジマス・スラスタ (固定式) 外観



DPS 概念図

### 3.3 ライザー掘削システム

JR 号を代表とする従来船では、ドリルパイプで掘り、中に海水を注入して、その圧力で掘削屑を海底まで排出するライザーレス掘削方式が採用されていました。この方式では孔壁が不安定なため、深くなる

と孔壁が崩れ、コアの回収率も低く(当時の記録は海底面下 2,111m)、また、石油やガス等が噴出する可能性のある場合は掘削が制限されていました。

「ちきゅう」は、海洋石油掘削で実績のあるライザー掘削システムを採用しています。ライザー掘削とは、直径 21 インチ (約 53cm) のライザーパイプで船体と海底の孔口に設置した「噴出防止装置 (BOP)」を結び、その中にドリルパイプを通して掘削する方式で、ドリルパイプを介して泥水と呼ばれる比重の高い特殊な液体を孔内に注入します。泥水は、孔内の圧力を制御し、孔壁を保護して孔壁が崩れないようにするとともに、孔内ではドリルパイプと孔壁の隙間、海底面から上ではライザーパイプとの隙間を通して掘削屑を船上に回収します。回収された泥水は掘削屑を取り除き、調整された後再利用されます。BOP は、3 階建てのビルほどもある巨大な弁の集合体で、予想外の石油やガスの噴出に備え孔口に設置される、ワインボトルのコルク栓の様な役割をします。



ライザーパイプ



噴出防止装置 (BOP)

### 3.4 研究区画

海底から採取されたコアは、空気に触れ、温度や圧力の変化により時間経過とともに変質します。これに対処するには、変化の大きい性質についての計測や分析をできる限り迅速に行う必要があります。「ちきゅう」には、陸上の研究施設にも引けを取らない最新鋭の計測・分析装置を備えた研究区画が設けられています。採取コアは、長さ 9.5m のプラスチックのチューブ（コアバーレル）に入った状態で回収された後、1.5m の長さに切断され、ラベルを貼り下層フロアに運ばれます。そこで、X線 CT スキャナーなど非破壊の計測を行い、その結果必要があれば一部を微生物研究に用い、残りを縦に半割します。半割されたコアの半分は保存用として冷蔵庫で保管し、残り半分を使って、地層や堆積物の構成を記録し、古地磁気学的な測定等各種の計測・分析が行われます。



計測装置(X線CTスキャナー)



物性測定装置

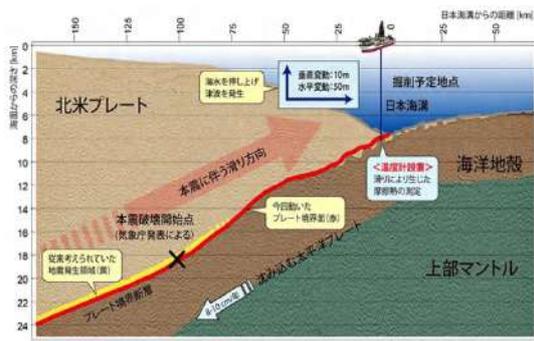
## 4 「ちきゅう」の航跡

「ちきゅう」の運用は、「日本郵船(株)」

グループにおける、海洋研究調査船「みらい」などの研究調査船に特化した実績を持つ「(株)グローバル・オーシャン・ディベロップメント」に委託する方向で、乗組員などの派遣を受け準備を進めてきました。当時、国産初の DPS を搭載した、大水深海洋掘削に従事した実績を持つ北欧掘削会社の協力を得て、船体及び掘削機器の様々な問題点を改善しながら、機能向上、乗組員のスキルアップを継続し、2008年、「日本郵船(株)」と「日本海洋掘削(株)」の共同出資による運航会社、「日本マントル・クエスト(株)」にその管理を委ねる事となりました。これまでに国内外を問わず、数々のミッションにて多くの研究成果を挙げています。中でも 2012 年には、東日本大震災の震源海域プレート層からのコアを採取、分析することにより、津波発生の原因となったプレートの移動量（垂直変動：10m、水平変動：50m）を突き止めた上、深海掘削科学調査の世界記録となる同断層（水深：6897.5m、海底下：854.81m）に、55 個の長期孔内観測用高精度温度計を設置することにも成功しています。次の写真に示す、「WASURENAI 3.11」には、当時のミッションに携わった私たちの願いが込められています。



高精度温度計投入孔設置機材  
(WASURENAI3.11)



東日本大震災断層調査概要図

また、同年下北半島沖合（下図）にて、海底下の炭素循環システムと、それに重要な役割を果たす地下生命活動の解明から、石炭層を起源とする、天然ガスやメタン・ハイドレートの形成に寄与する地下微生物活動の研究により、エネルギー資源活用に繋げることに成功しています。

			
特徴	深海で形成された地層 (二枚貝や巻貝の化石が含まれる堆積物)	石炭層 (厚さ7mの煤炭層の一部)	浅海～陸で形成された地層 (砂岩に石炭や石灰質粒子の薄い地層が含まれる堆積物)
採取区画 海底下(m)	1,747-1,756.5	1,919-1,928.5	1,973-1,981.5

石炭層コア分析



「下北半島八戸沖合石炭層生命圏掘削地点」

そして、2013年3月には、渥美半島沖合にて、これまで誰も成し得なかった、世

界で初めての「メタン・ハイドレート海洋産出試験」に成功し、我が国領海内に埋蔵される石油代替エネルギー抽出実現の礎を築いています。その後も回を追うごとに産出効率を向上させ、この分野における世界のトップランナーとしての技術・実績を維持しています。



メタン・ハイドレート産出試験



実施海域略図

## 5 おわりに

これまでに「ちきゅう」は、このような前例の無いプロジェクトにもかかわらず、建造者、運航者、研究者、産官学各位の懸命な尽力により着実な成果を挙げています。

①巨大地震発生メカニズム解明による災害予防、②地殻内生命の研究による医療などへの普及、そして、③石油に代わるエネルギー（メタン・ハイドレート等）抽出による、国家エネルギー・セキュリティへの貢献なども視野に入れつつ、基幹産業としての、21世紀の海洋事業発展に必要な

な人材育成の舞台としても、「ちきゅう」は重要な位置づけとなっています。

そして、これからも従来の科学・技術では成しえなかった、人類未踏領域へのあくなき挑戦（「地球の宝物探し」）や、次世代へ繋ぐ貴重な知的財産の礎と成り得ることが期待されていると言えます。

以 上



# 北星海運株式会社社船紹介

## 「神北丸」 表紙

### 最新鋭RORO船「神北丸」の概要

株式会社新来島どつく大西工場において、最新鋭RORO船「神北丸」が平成29年5月26日に竣工しました。本船は様々な省エネルギー対策や、CO<sub>2</sub>排出量の削減、漏油の防止等、環境に対しても配慮した船となっております。その「神北丸」概要をご紹介します。

#### 1. 神北丸の要目

船種：ロールオン・ロールオフ貨物船  
航行区域：限定近海（非国際）  
船籍港：東京都  
船級：日本海事協会  
全長 x 幅 x 深さ：166.99m x 27.4m x 23.77m  
載貨重量：6,600 トン  
総トン数：12,430 トン  
積荷：ロールペーパー 約 1620 巻  
シャーシ 約 150 本  
乗用車 約 270 台  
主 機 関：三 井 - MAN B&W  
9S50ME-C8.515,930kWx135rpm  
推進器：5翼固定ピッチプロペラ  
航海速力：約 21.6 ノット  
最大定員：24 名（ドライバー8名含む）  
荷役装置：油圧駆動ショアランプウエー  
30m長さ x 7.00m幅(50t)2基  
スラスタ：196.2kN(1290kW)2基(船  
首・船尾)  
減揺装置：アンチローリングタンク

#### 2. 荷役関係

本船はランプウエーという可動式スロープを装備し、本船の主な積荷であるロールペーパー、完成車及びトレーラーシャーシによる雑貨類と多種多様なカーゴを積載可能な構造としています。ロールペーパーは専用のトレーラーで艀内へ搬入し、フォークリフトにより所定の位置へ積載します。

本船の車両艀は全部で5層あり、そのうち3層がシャーシ用甲板、残り2層が自動車用甲板となっています。

シャーシ艀2層にはロールペーパー積載区画を設けています。ロールペーパーはデッキの凸凹や水分によりダメージするため、床面には特殊なエポキシ系甲板塗装を施工することにより滑らかな仕上げとし、外板側の壁面は木張りとすることで温度差による水分結露からカーゴを保護しています。

またエアバック付きスライディングドアにより航海中のロールペーパーの移動を抑え、荷崩れを防いでいます。

主機は9シリンダーの電子制御エンジンを採用し、省エネルギーに配慮しながら21.6ノットの航海速力を実現しました。

#### 3. 省エネルギー・環境対策

##### 3-1 省エネルギーの追及

電子制御機関の採用やターボリング等の付加物の設置、船底部の低摩擦抵抗型塗料採用など、徹底して省エネルギー化を図っています。

また、居住区内や自動車艀内、機関室の

照明には低電力・長寿命のLEDライトを採用、消費電力の低減を図っています。

### 3-2 環境対策

電動モーター駆動インバーター制御の揚錨機、係船機を採用し、各機器共に効率の良い出力での使用及び低騒音を実現しています。

またこれらの機器の駆動に油を使っていないことや、燃料タンクを二重化したことで万が一の際の油による海洋汚染リスクを大きく低減しています。また、煙突の排煙管出口には煤飛散防止スクリーンを装備する等、商品車への影響も考慮しております。

### 3-3 陸電設備

港側より電力供給を受けることで、本船の発電機を使用することなく荷役が行えます。これにより、荷役時の騒音と排煙低減を図っております。また、逆に本船の発電機より陸側へ給電することもでき、万が一の天災時等には清水や電力の供給の補給の行える支援船としても社会に貢献できる船となっています。

### 3-4 操船関係

サイドスラスタを船首尾に各1基ずつ装備しており、港内では真横方向へのスライド移動や、その場での回答が可能です。また、全天候型かつ船側より突出させた操舵室とし、さらに前述のスラスタ操作盤を左舷ウイング近くに接地することで、悪天候時でも離着岸作業が行いやすい船としております。

### 3-5 その他の設備

横揺れ（ローリング）対策として、暴露甲板上にアンチローリングタンクという大きなタンクを持ち、自動ダンパーにより左右の水移動を本船の横揺れを打ち消す周期に制御する装置を設けています。この装

置により、横揺れによる荷崩れの防止や、乗組員の居住性の向上を図っています。

## 4. 機関関係

### 4-1 主機関

主機関は電子制御の単動2サイクルディーゼル機関を採用しています。

電子制御機関は、燃料噴射、排気弁駆動、始動弁を従来のカム軸・カムからの駆動より電子制御された油圧により駆動します。これにより、シリンダーへの燃料噴射タイミング、排気ガスを排出する開閉タイミングやシリンダー注油タイミングを適切に調整でき、燃料油・シリンダー油の消費低減や、窒素酸化物を削減し、環境負荷低減が可能です。

### 4-2 自動化（MO）

機関部自動化はNK無人化符号' MO' を取得し、船橋には主機遠隔操縦装置を設けており、機関制御室にてデータロガーを装備し、液晶ディスプレイ及びログプリンターにより機関室機器等の監視を行っております。

## 5. 居住区関係

暴露甲板上には上下二層の居住区を設けており、2F部分には操舵室、事務室及び職員クラスの居室を配置しております。1Fには船首側に部員クラスの居室を配置し、中央部に食堂、娯楽室、予備室、風呂、洗濯室等の生活に必要な部屋を設けています。

また、船尾側には定員8名のドライバー室を設けています。ゆったりと入れるサイズの浴槽や、娯楽室よこには乗組員の憩いのスペースとして6畳の和室を設けるなど乗組員の生活環境にも考慮した居住区としております。

## 海事ニュース

### 国船協/「新労使協約決着へ。通常総会。18年は賃金据え置き

国際船員労務協会は6月15日に都内で第35回通常総会を開き、副会長に門野英二常務理事(川崎汽船専務)を選任した。総会後の懇親会で赤峯浩一会長は、今年1月以降の3年間の労働協約の締結に向けたIBF(国際団体交渉協議会)労使交渉について言及。2016年秋ごろから進めていたITF(国際運輸労連)との中央交渉が今年2月に妥結、18年は協約延長で実質的な賃金据え置き、19年は2・5%アップ、20年は値上げなしになったと報告した。

副会長は、今田俊介氏(太陽産業貿易社長)との2人体制となる。

赤峯会長は「昨年の本会で掲げた目標(18年の賃金据え置き)を達成でき、また3年間のアップ率はIBF始まって以来の低さとなった」と成果を強調。一方で、「(賃金上昇が低いのは)海運業界が厳しかったことの裏返しでもあり、手放しでは喜べない」と複雑な心境を語った。

中央交渉の妥結を受け、5月24日に第1回地域交渉をフィリピンのマニラで開催。続いて、今月21日に東京で開く第2回交渉で「労使双方が納得できる形での円満決着を目指す」(赤峯会長)とした。

このほか、労使交渉以外の直近の動きとして、フィリピン人船員向けの練習船のリプレース(代替建造)について報告。新造船「カピタン・グレゴリオ・オカ号」を三保

造船所(静岡市)で建造中とし、8月8日に進水式、12月25日に竣工後、AMOSUP(フィリピン船舶職員部員組合)かMAAP(アジア太平洋海事大学)に寄贈予定とした。

また、個人的な見解と前置きした上で「外航船員を目指す日本の若者が短期間でも乗船できる機会をつくりたい」などと述べた。さらに、マニラの船員トレーニングセンター(現JSU〈全日本海員組合〉-AMOSUP マリナーズホーム)について、19年末までの竣工に向けたスケジュールを報告した。

(日本海事新聞 2018年6月19日付け)

### 船協会長/「まずは海事教育充実」。競争条件均衡化へ土台作り

日本船主協会は6月20日、東京都内で第71回通常総会を開き、2018年度事業計画などを承認した。総会後の記者会見で武藤光一会長は、「前年度と同様、海運の認知度向上や環境対応、海運税制と海賊対策の4項目を重要課題として掲げている。海事教育の充実は、業界が目指す国際標準型トン数税制導入のための環境作り。いわばイコールフットィング(競争条件均衡化)のための土台作りなので、しっかり取り組みたい」と強調した。

地球環境対策では、今年4月のIMO(国際海事機関)会議でGHG(温室効果ガス)排出量の今世紀中ゼロという目標が決まったことについて「日本としても受け入れ可能な内容に決まったことは歓迎」と述べる一方具

体的な対策はこれからなので、海運事業者に過度な経済負担が課されないよう注視してきたい」と語った。その上で環境対策のためのコスト負担では「一事業者に偏ることなく、それに係るステークホルダー全体で対応していくことが望ましい」と述べた。

また米トランプ政権が中国製品に追加関税を発動すると表明し、米中貿易戦争の懸念から海運株などが下落していることについて、「実質的な影響はそれほど大きくないとみているが、株式市場が過度に反応して株価下落につながっているのは、はなはだ遺憾」と語った。

(日本海事新聞 2018年6月21日付け)

## 内航総連/暫定事業後の具体策議論。期中に組織のあり方も

日本内航海運組合総連合会(内航総連)は6月22日に開いた通常総会で、2018年度の活動方針を盛り込んだ事業計画実施要領を決めた。総会後に会見した小比加恒久会長は18年度の取り組みについて、『暫定措置事業終了後の内航海運業界の在り方』に関する議論として、民間船員育成・養成事業検討や内航海運業の適正化事業、内航海運業の安定に関する基金創設などの具体化に向けた検討を進める。一方で、海運組合などの組織に関する議論をしていく必要がある」と述べた。

内航総連は昨年8月から正副会長会議を継続的に開催。3月には「暫定措置事業終了後の内航海運業界の在り方」に関する5

つの基本方針がまとまった。基本方針の具体化へ、4月に「内航輸送に関する適正化事業」と「内航海運活性化基金」に関する検討会がスタート。7月には「民間で行う船員育成・養成事業検討ワーキンググループ」の議論も始まる。

小比加会長は「こうした事業の検討も進めているが、組合組織の議論にも踏み込んでいかないといけない」と説明。暫定措置事業の借入残高は8月には120億円となる見通しで、事業終了が近づく中、5項目の基本方針に基づく具体化の議論をスピード感をもって進展させていく考えを示した。

今年度は非改選期のため、小比加会長のほか、栗林宏吉、藤井肇、筒井健司、後藤田直哉、瀬野和博の5人の副会長が引き続き事業運営を担う。船員確保対策、内航海運税制維持、内航海運や海の認知度向上、SOx(硫黄酸化物)規制強化、「内航未来創造プラン」への対応に取り組む。

事業計画には、内航暫定措置事業の円滑かつ着実な実施▽運賃・用船料適正化、経営合理化などの推進、船舶建造の円滑化、公正な取引環境整備といった内航海運市場の構築と経営基盤強化対策の推進▽船員の安定的確保と育成▽環境・安全対策▽モーダルシフト推進▽カボタージュ(国内海上輸送の自国籍船限定)対策▽災害対策▽広報活動▽税制措置の要望と適切な運用▽暫定措置事業終了後の内航海運業界の在り方に関する検討などが盛り込まれた。

(日本海事新聞 2018年6月26日付け)

## 船協・船対協、九州で教育機関と懇談／「内航船や船員知る機会を」。人材確保へ連携強化。

日本船主協会と九州地区の内航関係官民で構成する九州地区船員対策連絡協議会は7月4日、福岡市内で船員教育機関と人材確保・育成に関する懇談会を開いた。内航海運業界と山口県を含む九州・沖縄地区の船員教育機関関係者ら60人超が出席し、船員教育に関して意見交換した。学校側からは船社側との連携強化や、生徒自身が内航船や内航船員に関して認知できるような取り組みなどを求める声が相次いだ。内航業界側は水産系高校、海技教育機構の卒業生が多く内航船員で働いているとし、船社としても人材確保に向けてさらに連携を強めていく意向を示した。同懇談会は今回で10回目となる。

会合には鶴丸俊輔・船協九州地区船主会議長、栗林宏吉・船協内航委員長、三木孝幸・同委員会副委員長、原田勝弘・九州地区船員対策連絡協議会会長、木村五六・同協議会副会長のほか、船協・内航関係者、海事振興連盟、山口県を含む九州・沖縄地区の水産系高校、口之津と唐津の海上技術学校関係者、九州運輸局の担当者らが出席した。

各校は内航海運業界に船員として就職している状況などを説明。その中で、船員就職後すぐに退職してしまう卒業生は、海の業界から離れてしまうケースが多い一方、卒業後に船員として数年勤務し続けた場合は、会社を変えても船員として働き続けることが多い傾向があるとの報告があった。

また学校側からの要望として、「生徒に

内航貨物船の実態を知る機会を設けてほしい」「内航業界との連絡を密にしていきたい」「船社側も採用した船員を時間をかけて育ててほしい」といった声が上がった。さらに、少子化で生徒の確保が難しい現状や、生徒を教える学校の先生の担い手不足が深刻-との指摘もあった。

(日本海事新聞 2018年7月6日付け)



## 富山高等専門学校

### ○平成 30 年度入学式を挙行

4月5日(木)、平成30年度入学式がオーバード・ホールにおいて挙行されました。式では、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ、賞雅寛而校長から入学許可が宣言されました。賞雅校長から「皆さんは国境や宗教を越え、より広い視野に立って勉学に励み、良き友人を得て、素晴らしい学生生活を送られることを確信しています。」と式辞が述べられました。

続いて新入生を代表し、電気制御システム工学科 並河良治さんが、「将来、社会に貢献できるような目的をもって勉学に励んでいきたい。」と、また制御情報システム工学専攻 小西朋春さんが、「社会人として必要な倫理観やグローバルな視野を身につけ、社会に貢献できる人材になれるよう、日々精進し続けることを誓います。」とそれぞれ力強く誓いの言葉を述べました。

射水キャンパスでは、本科126名、専攻科14名の新入生が新たな学校生活をスタートさせ、6日(金)には始業式・対面式、新入生オリエンテーション、9日(月)には恒例の新入生学力診断テストなどの日程をこなしました。

#### 入学者数

〈学科新入生〉

機械システム工学科	41名
電子情報工学科	44名
電気制御システム工学科	42名
国際ビジネス学科	40名
物質化学工学科	42名
商船学科	42名
計	251名

〈外国人留学生(学科3年次へ)〉

機械システム工学科	1名(タイ)
物質化学工学科	1名(マレーシア)
電子情報工学科	1名(モンゴル)
計	3名

〈専攻科〉

エコデザイン工学専攻	18名	制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学専攻	3名	計	32名



(上) 式辞を述べる賞雅寛而校長



(下) 新入生代表の誓いの言葉

### ○新任教員の紹介

4月1日、商船学科に松村茂実准教授が着任されました。松村先生は富山商船高専の卒業生でもあります。外航海運会社での機関長・運航士、船舶修理業社での船舶修理、造船所での品質管理・安全衛生管理業務、曳航会社での船舶管理業務、船員教育業務といった多彩なこれ

までの経験を、学生の教育指導に活かして頂いております。

#### ○本校名誉教授が平成30年春の叙勲を受章

教育研究功労者として、富山工業高等専門学校名誉教授 宮谷大作氏と富山商船高等専門学校名誉教授 石森繁樹氏がそれぞれ瑞宝小綬章を受章されました。去る、5月11日（金）に国立劇場大劇場において叙勲の伝達式が行われ、その後、天皇陛下への拝謁が行われました。

#### ○海技教育機構の練習船が伏木富山港に入港

実習生111人と乗組員46人、計157人が航海実習中の海技教育機構の練習船「大成丸」が5月21日に伏木富山港に寄港し、25日まで補給と休息のために海王岸壁に停泊しました。この機会に見学会を実施して頂き、商船学科1年生の42名が参加しました。1年生は見学の間もたくさん質問をするなど、内航用練習船として最適化された最新鋭の設備に興味津々で、大変勉強になった様子でした。貴重な体験の機会を与えて頂き、ここに感謝させていただきます。



写真3, 4, 5, 6 大成丸 見学会

#### ○東京海洋大学海王祭にて海事広報を実施

5 商船系高専と2 海事・商船系大学による、船や海運産業について広報する事業の一環として、東京海洋大学越中島キャンパスで6月3日・4日に開催された海王祭にて企画展示を行いました。海王祭実行委員会と商船系高専から東京海洋大学への編入生のサポートを受けて、海に囲まれたわが国の海運の重要性について楽しく学べるコーナーを出展し、海洋大や商船高専OB、船乗りを目指す中学生、現役の海洋大や近隣の大学生を含む100名超の方々にご来場頂いて、日本の海運の状況や商船系高専の存在について知ってもらう有意義な機会になりました。



写真9 海王祭における展示の様子

○平成30年度 7月から10月の予定

- 7月7～8日 北陸地区高専体育大会  
7月12日 カッターレース大会（予備日：7月17日）  
7月18日・25日 就職ガイダンス(4年生)  
7月19日 洋上救命講習(サバイバル実習, 4年生)  
7月30日 専攻科海事システム工学専攻 特別研究発表会  
（8月8日～9月19日 学生夏季休暇）  
8月8～10日 射水キャンパス夏季オープンキャンパス  
9月21日 商船学科卒業式, 専攻科海事システム工学専攻修了式  
10月14日 ロボコン東海北陸地区大会  
10月26日 遠足(2年生), 県内企業見学(3年生)

(教務主事補 商船学科 福留研一)



# 北斗会

## ○北斗祭開催

5月26日、27日、射水キャンパスにて第10回高専祭-北斗祭-が開催されました。今年のテーマは「Paint! -集まれ、輝け、あなた色-」でした。ステージに立つ人、模擬店で汗を流す人、はじめて北斗祭に参加する人、高専生活最後の北斗祭を迎える人、実行委員として頑張ってきた人など、それぞれの得意分野を生かし、キラキラと輝く「あなた色」で今年しかできない北斗祭を描いてほしいという思いが込められています。

模擬店やステージ企画の他、ライブペインティング、クラス展示、練習船若潮丸の体験航海など多くの催し物が行われ、大変多くの方にお越しいただきました。

本行事では多くの卒業生にもご来場いただき、また企業様、地域の皆様の厚いご支援ご協力を頂戴しました。心より御礼申し上げます。



北斗祭模擬店



北斗祭実行委員集合写真

## ○インターハイ出場決定（陸上競技部）

6月14日～17日、北信越高等学校陸上競技対校選手権大会が開催され、富山県予選を勝ち抜いた19名の学生が出場しました。三段跳、ハンマー投、砲丸投、円盤投で上位入賞を果たし、3名の選手が8月上旬に三重県で開催されるインターハイ（全国高校総体）に駒を進めました。



陸上部砲丸



**陸上部三段跳**



**1年生宿泊研修集合**

○新入生合宿研修

6月18、19日、両キャンパスの1年生が国立能登青少年交流の家に集い、新入生合宿研修を行いました。今年度は初めての試みとして、6学科混成チームでオリエンテーリングを行い、キャンパスを超えて学生同士の交流を深めました。夜には校歌練習や学科紹介の出し物を行い、各クラスの練習成果を披露しました。二日目はのどじま水族館を観光し、思い思いに楽しみました。

(学生主事補 商船学科 山田圭祐)



**1年生宿泊研修オリエンテーリング**

## 鳥羽商船高等専門学校

### 平成30年度本科並びに専攻科（生産システム工学専攻）入学式を挙

晴れ渡った春の日差しの下、平成30年4月4日（金）本校第2体育館において平成30年度本科並びに専攻科の入学式を挙りました。

商船学科38名、電子機械工学科40名、制御情報工学科40名の計118名を本科1年生に、留学生1名を制御情報工学科3年生に、生産システム工学専攻に11名の進学者を迎えました。

式では、林校長の入学許可の後、在校生が足踏みで新入生への歓迎の意を表しました。

また、林校長から「在学中、多くの友人と一緒に勉学・クラブ活動に励み、夢を実現するための志を立ててください。」と式辞を述べられ、新入生を代表して商船学科と生産システム工学専攻の入学生からそれぞれ、新しいスタートにあたっての抱負が読み上げられました。



### 祝・Imagine Cup世界大会出場決定！

4月16日（月）に開催されたマイクロソフ

ト主催の学生向けITコンテスト「Imagine Cup 日本大会」において、鳥羽商船高専チームは優秀賞を受賞し、7月末にアメリカのシアトルにて開催される Imagine Cup 世界大会への出場が決まりました！

出展システムは、EFFECT と名付けたマダイやシマアジを対象とした海面養殖における自動給餌の人工知能システムです。

これまで、ご協力・ご声援いただいた方に感謝するとともに、世界大会に向けてもこれまで以上にご支援のほど、よろしくお願いたします。





### 三重県高校総体男子走高跳で4位入賞→東海高校総体出場権獲得

5月26日(土)に三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場で第68回三重県高等学校総合体育大会第2日目が開催されました。男子走高跳(50名エントリー)に出場した畠田寛大君(電子機械工学科2年)が、1m89cmの記録で4位に入賞し、6月15日(金)～17日(日)に同競技場で開催される第65回東海高等学校総合体育大会の出場権を獲得しました。



### 練習船「鳥羽丸」が和歌山県日高港に初入港

鳥羽商船高等専門学校(校長:林祐司)と和歌山工業高等専門学校(校長:角田範義)の間で平成30年3月に締結された包括連携協定の事業として、練習船「鳥羽丸」が、商船学科航海コース5年生の航海実習にて、5月8日(火)和歌山県御坊市日高港に初入港しました。

入港後のセレモニーでは来賓の御坊市の柏木征夫市長、同市観光協会古久保会長等が歓迎の言葉を述べられました。

和歌山工業高専の角田校長は「御坊と鳥羽は海でつながっている。これからは海に目を向けて積極的に協力し、研究を進めていきたい」と話されました。

イベント終了後、地元の幼稚園児と小学生及び来賓を鳥羽丸に招いて、学生による船内説明や体験航海(5月8日及び9日)を行いました。

ました。

鳥羽丸は、災害時支援を想定した、支援物資の陸揚げテストを実施し、御坊市役所防災対策課の方々と意見交換を行いました。

その後、航海コース5年生は、和歌山工業高専を訪れ、学校施設見学や学生交流会を行いました。

復路航海では、和歌山工業高専の教員1名と専攻科生2名が、「紀伊半島海域における海洋資源探査に係る事前調査」のため、鳥羽丸に乗船されました。



【練習船鳥羽丸日高港入港】



【入港記念写真】



【林校長の挨拶】



【挨拶される和歌山工業高専角田校長】

「情報通信月間 東海総合通信局長表彰」

受賞

平成30年6月1日（金）に、総務省東海総合通信局主催で「平成30年度「電波の日・情報通信月間」記念式典」が行われ、本校が取り組んでいる AI を活用した養殖漁業の効率的な生産管理システムの開発など地域への貢献が認められ、「情報通信月間 東海総合通信局長表彰」を受賞しました。



商船学科4年生対象で消火講習（実技）を実施

平成30年6月9日（土）に、商船学科4年生対象で消火講習（実技）を実施いたしました。

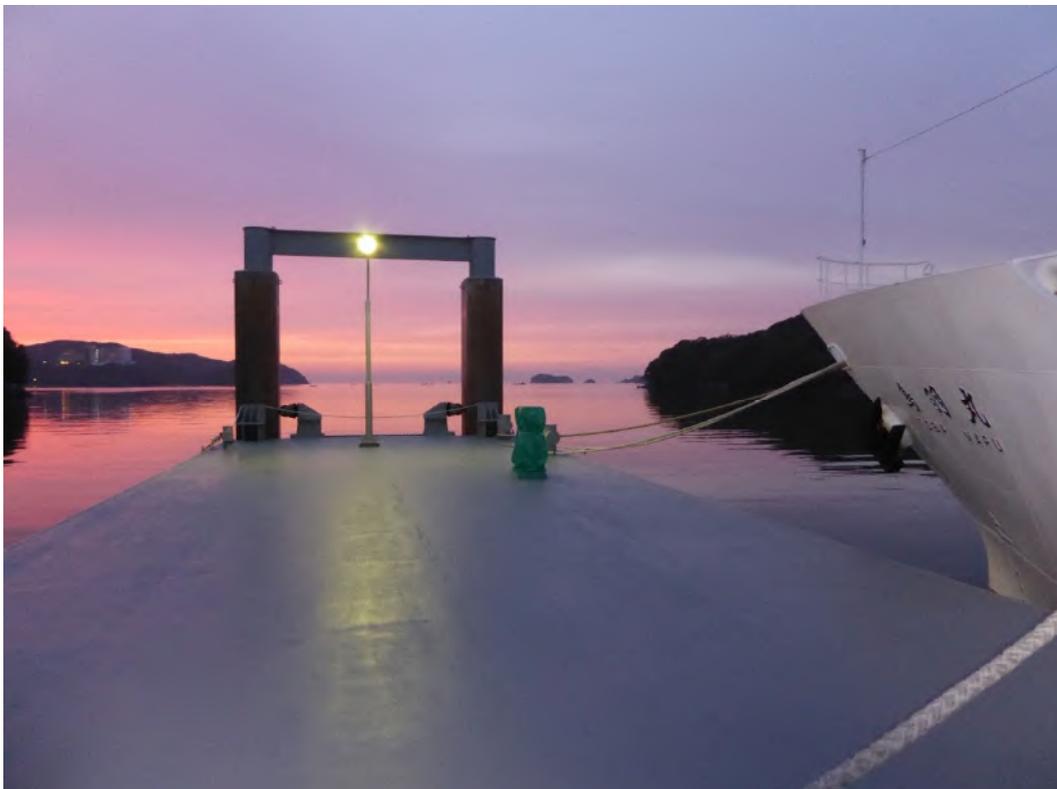
今年は、早い梅雨入りで、天候が心配されましたが、当日は好天に恵まれました。

消火講習（実技）では、学生が実際に自蔵式呼吸具や消防員装具を着用しました。初めて炎に向かい、炭酸ガス消火器・粉末消火器・泡消火器及び消火ホースによる消火を行いました。学生は初めての経験に戸惑いながらも真剣に実技講習に取り組んでいました。

## 鳥羽商船高等専門学校 ホームページ リ ニューアル

鳥羽商船高等専門学校のホームページが、装いも新たにリニューアルいたしました。画像や情報も豊富になり、より見やすくなりました。是非一度ご覧いただきますよう、お願い申し上げます。

- 鳥羽商船高等専門学校 ホームページ  
アドレス [【http://www.toba-cmt.ac.jp/】](http://www.toba-cmt.ac.jp/)  
(右のQRコードからもアクセスできます。)
- 鳥羽商船高等専門学校の Facebook ページ  
【<https://www.facebook.com/TobaShousen/>】  
(鳥羽商船高等専門学校の Facebook ページです。)
- 練習船鳥羽丸の Facebook ページ  
【<https://www.facebook.com/tobamaru.jp/>】  
(学生の実習風景や鳥羽丸の情報をお伝えします。)



(商船学科航海コース 齊心 俊憲 記)

## 鳥羽商船同窓会総会開催

本年度の総会は晴天の6月3日、関西支部のお世話で大阪駅前丸ビルの大阪第一ホテルにて開催されました。

来賓に母校から林校長、石田副校長、山内事務部長、全日本船舶職員協会の岩田仁会長(S38E卒)、そして東京の攻玉社同窓会の木村同窓会長、田村事務局長をお迎えし、同窓生82名と共に盛大に催されました。

理事会、総会では西山会計から今年の決算と予算審議がなされ承認、報告されました。今年の決算は同窓会名簿の発刊準備で協賛会社から広告料収入が臨時で増えたため黒字決算で終わりましたが、次年度以降はこれらの収入が減少するため年会費、終身会費、寄付金の益々のご協力の要請がなされました。

菅沼会長、林校長からあかるい話題が報告されました。

母校がアメリカシアトルでのマイクロソフト社主催のイマジカップ世界大会へ日本代表として、東大から2チーム、鳥羽商船から1チームが大きな期待を受けて参加します。母校の健闘を祈って急遽会場に募金箱が回され多くの寄付金が集まりました。このチームの指導教官でもある同窓会の江崎修央副会長がお礼と優勝を目指して力強い言葉をのべました。又、今年母校商船科の受験者が減り定員40名に対し38名の入学で2名の定員割れを生じたことが報告されました。学校、同窓会もこの由々しき現状を重大な懸案と受け止め母校、同窓会が力を合わせこの問題を打開すべく協力し合っていくことを承認、報告されました。具体的な取り組みは秋に支部長会を開催し活動いたします。

同窓会伊勢志摩支部が主体で立ち上げた、NPO法人 故郷の海を愛する会の活動に対して国交省中部運輸局から運輸局長賞を受賞しました。この会の活動も今年で10年を迎えました。母校と共にこの会の活動が県内外に向けて母校PRに寄与している事は疑いようもありません。益々の活動をお願いいたします。

攻玉社木村会長が、両校の兄弟校の歴史とご祝辞を懇親会にてのべられ、今後も熱い交流を続けていくことを菅沼会長と約束されました。

懇親会では、関西支部恒例のアトラクションで女性デュオ キャトルフューユの演奏の元母校新旧校歌、練習船の歌、海のロマンスを全員で合唱しましたが懐かしい青春時代を思い出し、ハンカチを目に当てている同窓生は筆者だけではなかったように思います。

最後に来年の総会開催地の三井伊勢志摩支部長の万歳三唱と来年6月初旬の鳥羽での再会を約束して散会致しました。

関西支部の皆様 大変なご協力ありがとうございました。

平成30年7月6日

事務局長 江崎隆夫

# 広島商船高等専門学校

## 学校

### ○新年度一入寮式・入学式・新入生オリエンテーション

4月8日(日)入学式を挙行了しました。商船学科44名、電子制御工学科42名、流通情報工学科47名、編入学生1名、専攻科産業システム工学専攻7名が入学しました。

辻校長から、「技は努力なり」といいます。勉学と課外活動を通して多くの友を作り、多くの事を学び、それらを自分のものとし、人生の土台、すなわち基礎づくりに努めてください。」と式辞があり、続いて商船学科 藤高勇希さんが新入生総代として「校則を守り、学生としての本分を尽くして、社会に有為な人物となるよう努力することを誓います」と宣誓しました。



写真1 入学式

入学式前日の4月7日(土)、若潮寮に男子88名、女子15名、合わせて103名の新入寮生を迎えました。

入寮にあたっては、寮生会役員を中心に在寮生が荷物の運搬や受付を手伝ってくれました。

13時からは寮食堂にて入寮式を執り行い、寮生活についての説明等がありました。

規律をしっかり守りながらも楽しく生活できる寮となることを期待します。



写真2 入寮式.



写真3 入寮式

4月10日(火)～4月12日(木)国立三瓶青少年交流の家にて新入生オリエンテーションを行う予定でしたが、前日の島根県地震のため中止となり急きょ日程を変更して4月25日(水)～4月26日(木)に国立江田島青少年交流の家にて実施しました。

日程は短くなりましたが、学生は飯ごう炊飯のカレー等で盛り上がっていました。



写真4 新入生オリエンテーション



写真5 新入生オリエンテーション

○新入教員

次の先生方をお迎えしました。

- ・一般教科 川崎 雄貴  
橋本 真
- ・商船学科 片平 卓志
- ・電子制御工学科 石橋 和葵
- ・流通情報工学科 金子 春生

○地元大崎上島中学新入生研修

大崎上島中学校の1年生37名の宿泊研修を受け入れました。研修では、カッター訓練、学生寮での食事体験等を実施しました。



写真6 大崎上島中宿泊研修



写真7 大崎上島中宿泊研修

○前期クラスマッチ

5月2日(水)に平成30年度前期クラスマッチを開催しました。

雨空の中開催し、途中から小雨となりましたが、リレー、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、ドッジボールの5種目を競い合い、級友と共に汗を流す中で友情を深めました。優勝チーム等は次のとおりです。

- 男子リレー 電子4年
- 女子リレー 流通4年
- ソフトボール 2年1組
- 男子バドミントン 商船3年
- 女子バドミントン 商船3年
- 男子バレーボール 流通4年
- 女子バレーボール 流通4年
- ドッジボール 商船5年



写真8 クラスマッチ

- 総合成績1位 流通4年
- 総合成績2位 商船4年
- 総合成績3位 電子4年



写真9 クラスマッチ

○名誉教授称号授与

今春退職した松島勇雄 元電子制御工学科教

授及び舟木弥夫 元一般教科教授に広島商船高等専門学校名誉教授の称号を授与しました。



写真10 名誉教授称号授与

### ○第44回瀬戸内商船高等専門学校2校定期戦

6月16日(土)第44回瀬戸内商船高等専門学校2校定期戦を開催しました。本校と弓削商船高専で熱い戦いが繰り広げられました。



写真11 2校定期戦



写真12 2校定期戦

## 校友会

### ○平成30年校友会総会開催

5月19日(土)広島市のホテルセンチュリー21で理事会・総会・懇親会が辻校長をお招きし開催されました。参加者は以下の通りです。

#### 総会出席者

N42 早田静登	58 田葉行宏	62 半田康博
68 世登順三	69 森田茂雄	70 栗井義彦
71 望月正信	71 金原秀章	72 小林孝市
72 吉澤 勇	72 津村 徹	72 森 登
73 上原淳一	73 道法 隆	73 田中君彦
74 富田泰雄	74 高橋豊城	76 亀田良英
77 松村勝良	77 片山龍一	78 桂 幹治
80 中山隆志	81 大村柳二	83 清田耕司
90 郷原貴弘		
E29 寄本喜三	37 村上益広	37 穂山浩一
39 三名田隆臣	42 清水弘昭	47 玉田恭二
48 瀧口三千弘	48 山口 博	52 茶園敏
55 寒川覚志		
MN2 神田智行	2 米澤あや	13 土井世理
ME6 米澤正納		

#### 懇親会出席者

N60 末田亮介	67 中山俊彦	68 新城光晴
72 田中晋作	74 崎本芳男	75 上光美彦
E40 知久良広		
MN2 河野亜希子	2 松永愛子	24 柘植雅也
ME2 水戸勝也	13 中田友博	水 井 香

### ○平成30年合祀式

本年度校友会合祀式を創基120周年行事中に下記要領にて実施します。

平成30年広島商船高等専門学校校友会合祀式

日 時 平成30年10月20日(土)

11時00分～

場 所 本校慰霊碑広場

注：昼食を用意したいと思いますので参加の方はご連絡下さい。

尚、当日は創基120周年行事のため、送迎は予定しておりませんのでご了承下さい。

(記：E52茶園)

# 大島商船高等専門学校

平成 30 年度 4 月から、新たな校長先生が赴任いたしました。

前 神戸大学 大学院 海事研究科 教授 福田勝哉先生です。これまでと同様に、新たな学校長を中心に教育・研究に邁進します。皆様今後ともよろしくお願ひします。

学校長挨拶は、学校 HP に掲載してありますので、興味がある方は学校 HP にアクセスしてご覧ください。



福田勝哉校長先生

◎平成 30 年 3 月から平成 30 年 6 月にかけて行われた、主な式典、教育活動、地域連携などを中心に紹介します。

## 1. 式典・催事

○平成 29 年度卒業証書・専攻科修了証書授与式挙

平成 29 年度卒業証書・専攻科修了証書授与式を、平成 30 年 3 月 16 日（金）に挙りました。今年度 3 月の本科卒業生は電子機械工学科 32 名、情報工学科 39 名、専攻科修了生は電子・情報システム工学専攻 7 名でした。

辻校長からの式辞では、冬季オリンピックメダリストの高木菜那選手の言葉を紹介し、弛まぬ努力の重要性、その努力をさせる目的や悔しさが大事であると説き、これから旅立つ卒業生・修了生に対する祝福と激励を行いました。授与式終了後、卒業生・修了生は、花束を持った後輩に囲まれ、別れを惜しむ様子が見られました。

○平成 30 年度入学式挙

平成 30 年度入学式を、平成 30 年 4 月 4 日（水）に挙りました。今年度、本科生として、商船学科 42 名、電子機械工学科 47 名、情報工学科 43 名の合計 132 名が入学しました。また、専

攻科生として、電子・情報システム工学専攻に 15 名が入学しました。更に、電子機械工学科と情報工学科の第 3 学年にそれぞれ 1 名の留学生が編入学しました。

福田校長は、新入生に対して「挨拶を交わし、言葉を交わし、多くの良き友人を作ること」「人から学ぶことも大切だが、自分から学ぶ姿勢を持つこと」「悩みがあれば、一人で考えたり、問題を放置したりせず、友達や教職員に相談すること」を話し、式辞としました。

続いて情報工学科の平原崇丞さん及び電子・情報システム工学専攻の樹下馨さんが新入生を代表し、入学の宣誓を行いました。新入生はこれから始まる高専生活に期待を膨らませている様子でした。

○平成 30 年度名誉教授称号授与式

平成 30 年度大島商船高等専門学校名誉教授称号授与式を、平成 30 年 5 月 10 日（木）に実施しました。名誉教授の称号は、本校の充実発展に対する功労又は教育上若しくは学術上の功績があった者に授与しており、このたび、石田廣史 元 校長（都合により欠席）と吉留文男 元 一般科目教授に授与されました。



平成 29 年度 3 月卒業式の様子



平成 30 年度 4 月入学式の様子

○平成 30 年度大島商船高等専門学校校長表彰

平成 30 年度大島商船高等専門学校校長表彰式を、平成 30 年 6 月 13 日（水）に行いました。本表彰は、本校の教育・研究活動及び管理運営等の活性化、並びに教職員の意欲の向上を図ることを目的として、平成 29 年度に本校において、教育、研究、地域連携、学生指導及び業務改善等の分野で特に顕著な功績をあげた教職員に対して行われるものです。今回の校長賞表彰には、個人 2 名と 2 グループの計 7 名に表彰状等が授与されました。

校長祝辞では、受賞者の功績を讃えるとともに、受賞したことを糧として、日々の教育・研究等に益々、邁進していただきたい旨の言葉が贈られました。

## 2. 教育活動

○海外研修報告会を実施

春季休業中に海外研修に参加した学生の報告会を、平成 30 年 5 月 9 日（水）に行いました。今回の報告は、シンガポール・マリタイム・アカデミーにおける研修および、台湾の高雄科技大学での研修に参加した学生です。

参加者は、現地での生活、大学の設備、研修プログラムの内容などについて、英語を交えて発表したり、教員や学生からの質問に答えたりしていました。

○商船学科 5 年生が航海実習を実施

本校練習船大島丸において、平成 30 年 5 月 9 日（水）から 5 月 11 日（金）まで、商船学科 5 年生による尾道・今治方面への航海実習を行いました。

今治では船用を中心とした総合電気機器メーカーである渦潮電機株式会社のみらい工場の見学を行いました。未来の船をイメージした工場の外観に学生たちは驚きを隠せませんでした。会社についてご説明いただいた後は、ミュージアムや機関コンソールの製造過程を見学させていただきました。最後に渦潮電機の事業の柱のひとつでもある電気自動車に試乗させていただきました。最終学年での大島丸実習航海は学生一人ひとりが活

躍した実習になったことと思います。

○平成 30 年度ブックハンティング開催

ジュンク堂書店広島駅前店の協力のもと、平成 30 年 5 月 19 日（土）に図書委員によるブックハンティングを実施しました。このイベントは、学生が書店に出向き、自身で選書することによって、良書に親しみを持つとともに、教養を高めることを目的として例年開催しているものです。

当日は、電子機械工学科中村准教授と商船学科渡邊講師の引率のもと、図書委員 13 名が参加しました。購入する本のリストを作成していた学生、購入する本のジャンルを決めていた学生など、皆積極的に参加していました。



大島商船校長表彰の様子



海外研修報告会の様子



### 商船学科 5 年航海訓練的一幕，集合写真



渦潮電機株式会社見学の様子

○商船学科 4、5 年生へ特別講義「外航船員を経て水先人の経験から見た海技者の世界」の実施

商船学科 4 年生は、本年 10 月 1 日から、海技教育機構の大型練習船による長期実習が始まります。翌年 4 月から 5 年生として、就職や進学活動に臨むことになります。5 年生は、6 月から 7 月が就職活動のピークとなります。4 年生は自分の将来選定の参考、5 年生は就職や進学活動の参考にしてもらうため、平成 30 年 6 月 15 日（金）に、内海水先人の栗阪肇氏による特別講義「外航船員を経て水先人の経験から見た海技者の世界」を実施して頂きました。

栗阪氏は、LNG 船、ばら積み船、石炭船等の航海士と船長として十数年の海上履歴を積み、現在は内海水先人として活躍されています。これまでも、他高専で特別講義を実施されており、学生の進路選定に対して大きな力になっていました。当日は、大島商船の卒業生である、内海水先区水先人会の高濱洋嘉副会長様にも来て頂き、後輩達にエールを送って頂きました。講義では、栗阪氏の様々な船種や航路での経験談があり、学生の多くが非常に興味深く聞いておりました。質問として、船員の実際の生活について、学生時代にしておくべきこと等の多くの質問がありました。是非、全船協会員の皆様も、機会がありましたら、特別授業を実施して頂けたら学生にとって幸いです。

（寄稿文を修正して記載しました）

### 3. 地域連携活動、公開講座など

○第 1 回新産業創出研究会を開催

平成 30 年度中国地域創造研究センターの産学官連携事業として採択された、「触覚インタフ

ェースを用いた小型筋電計測器のセルフフィードバックシステムの開発」に関する、第 1 回新産業創出研究会を、平成 30 年 5 月 15 日（火）に開催しました。

当日は、メディエリアサポート企業組合（岡山市）代表理事国里光博氏、支援団体の（公財）中国地域創造センター及び経済産業省中国経済産業局の方々と本校電子機械工学科浅川貴史教授が参加し、在宅リハビリトレーニングに向けた本研究の開発状況・目標を討論しました。

○練習船大島丸を用いた大晃機械工業（株）新入社員研修の実施

本校練習船大島丸で、本校地域連携交流会会員でもある、ポンプメーカーの大晃機械工業株式会社様（山口県田布施町）が、新入社員 16 名の参加する研修プログラムを、平成 30 年 5 月 15 日（火）に実施しました。

研修生は、会社で船用ポンプに関する基礎を学んだ後で、大島丸を用いた研修に参加し、大島丸で実際にポンプが動いて船舶が運航されていることを実感していただけたことと思います。今後の業務に役立てていただければ幸いです。

○シニア大島の宮島丸宮島海洋研修航海の実施

地元の大島老人クラブ連合会（シニア大島）による文化活動が、平成 30 年 6 月 7 日（木）に本校練習船大島丸を利用した宮島までの航海として実施しました。シニア大島からは 53 名の方が参加、乗船されました。

当日は波もなく大変穏やかな航海となりました。参加者の方々は、普段は見ることができない、海からの周防大島や宮島までの航海を楽しまれた様子でした。航海中は船内見学や、船長による講話などが実施されました。宮島では厳島神社の参拝などを楽しまれた様子でした。



「外航船員を経て水先人の経験から見た海技者の世界」



大晃機械工業（株）新入社員研修

「ムーブマン・ネオ」収録の様子



優勝した野球部の様子（右）

4. 学校PR活動およびクラブ活動の表彰

○テレビ番組「ムーブマン・ネオ」の収録が行われました

本校の図書館1階において、平成30年5月18日（金）にテレビ番組「ムーブマン・ネオ」の収録が行われました。「ムーブマン・ネオ」は、大学生及び高専生を軸に山口県の未来を創る地方活性化のアイデアをディスカッションする番組です。パーソナリティの大谷泰彦さんの司会のもと、ゲストとして、本校から商船学科5年齋藤香澄さん、商船学科4年福喜碧海さんが、特別ゲストとして（一社）周防大島観光協会江良正和事務局長が出演し、地元を活性化するアイデアを熱く議論しました。

○野球部「柳井市長旗争奪高校野球大会」で優勝

平成30年5月3日（木）から4日（金）にかけて、ビジコム柳井スタジアムで行われた第20回柳井市長旗争奪高校野球大会において、本校硬式野球部が16年ぶり2度目の優勝を果たしました。

決勝は柳井商工高校を相手に、4回2死から打者15人、10長短打で大量13点を奪う猛攻で、17対4（5回コールド）で優勝を決めました。夏の高校野球選手権山口大会に向けて弾みをつけることができました。応援してくださった皆様、ご声援どうもありがとうございました。



◎おわりに

平成30年度は福田校長先生が新たに赴任され、心機一転様々なことが行われています。この2年間「学校便り」を作成させていただいていますが、これまでで一番紹介すべき事項が多く、記載しきれてない内容も数多くあります。例えば、例年行われているオープンキャンパスなどです。記載しきれてない内容でどのようなことがあったか興味がある方、今後のオープンキャンパス、学園祭など、大島商船で行われるイベント、行事に興味がある方は学校HPにアクセスをお願いします。最後になりますが、今後とも大島商船をさらなるお引き立てよろしくをお願いします。

（教務主事補 村田 光明 記）

# 弓削商船高等専門学校

## 平成 30 年度入学式を挙行

平成 30 年 4 月 8 日(日)に平成 30 年度弓削商船高等専門学校入学式を挙行しました。今年度は本科入学生 128 名(編入学生 2 名、留学生 2 名を含む)、専攻科入学生 8 名の計 136 名の学生が入学しました。

式ではまず、入学許可が行われ、続いて本科入学生及び専攻科入学生による入学宣誓が行われました。その後、校長先生から「高専は、自ら取り組む人にとっては非常にやりがいのある学校です。いろいろなことに挑戦し、あなたの夢を実現させてください。」と式辞がありました。



平成 30 年 6 月 16 日(土)、広島商船高等専門学校との、第 44 回瀬戸内商船高等専門学校 2 校定期戦が開催されました。

晴天のもと、弓削商船会場では、硬式野球、テニス、バレーボール(男子・女子)、サッカー、ラグビー、バドミントン(男子・女子)、柔道の 9 競技、広島商船会場では、ソフトテニス、陸上競技、バスケットボール(男子・女子)、卓球、剣道、水泳の 7 競技が行われました。競技の結果は次のとおりです。

## 第 44 回瀬戸内商船高等専門学校 2 校定期戦成績表

平成 30 年 6 月 16 日(土)

### 弓 削 会 場

種 目	弓 削 ー 広 島			
	○	9	-	2
硬式野球	○	9	-	2
テニス	○	2	-	1
バレーボール(男子)	×	0	-	2
バレーボール(女子)	×	0	-	2
サッカー	○	3	-	0
ラグビー	○	32	-	7
バドミントン(男子)	○	3	-	0
バドミントン(女子)	○	2	-	1
柔道	○	5	-	0

### 広 島 会 場

種 目	弓 削 ー 広 島			
	○	3	-	2
ソフトテニス	○	3	-	2
陸上競技	×	86	-	103
バスケットボール(男子)	○	63	-	39
バスケットボール(女子)	○	68	-	20
卓球	×	0	-	3
剣道	○	3(4)	-	2(3)
水泳	○	94	-	69

## 2018 ホンダエコマイレッジレースで準優勝

平成 30 年 6 月 9 日(土)、鈴鹿サーキット場で開催された 2018 ホンダエコマイレッジレースに本年も電子機械工学科の二輪車チームが出場し準優勝しました。二輪車部門は一般参加となり本年は 12 チームの参加となり、他の高専も参加していましたが、高専・大学の参加者の中では本校のチームが 1 位でした。

成績は 1 リットル換算で 180 キロメートルという好成績でした。この大会参加は卒業研究の中で取り組んでいます。学校のチャレンジプロジェクトの一環です。クラブ活動に属さないこのような大会に本校のいろいろなチームがいろいろな大会にチャレンジしています。今後は乾電池レースとなる Ene1、一般道を走る EV ラリーなどのレースにもチャレンジ予定です。みなさんの応援をお願いいたします。



#### 弓削商船 PR チームがふるさと CM 大賞へ出演

平成 30 年 3 月 11 日(日)、松山コミュニティーセンターにて収録が行われた”ふるさと CM 大賞 2018”へ本校のチームが参加、3 月 31 日(土)15:00 からその様子が愛媛朝日テレビにて放映されました。

この番組は、愛媛県の各市町村からの出演グループが地域の特徴を PR する 30 秒の CM を披露、その後パフォーマンスをステージで行います。本校は、弓削海の駅をテーマに CM をつくり、舞台上で学生の手旗信号によるパフォーマンスを実施しました。

昨年は特別賞を受賞いたしましたが、残念ながら賞の受賞を逃しました。しかし、CM の無料放送は当テレビ局にて放映されたようです。

#### 本校の学生が FM ふくやまへ生出演！！

平成 30 年 6 月 22 日(金)FM ふくやま(77.7MHz)へ本校留学生が生出演いたしました。電波が届く範囲は瀬戸内海の福山を中心に少しのエリアですが、地域のみなさまには、出演した留学生の声を通じて弓削商船のことをきくことができたのではないのでしょうか。

出演時間は 17:30 ころから 10 分くらいでしたが、学校の紹介、

オープンキャンパスのことをパーソナリティーの方とトーク形式で紹介してくれました。本校では一昨年は、木村前校長が、昨年は電子機械工学科の 5 年生と情報工学科 3 年生の学生が、本年はマレーシアからの留学生 2 名が出演しました。



(広報主事 益崎真治 記)

## 弓削商船高専同窓会

### H30年同窓会総会開催の報告

本年は6月15日(土)17:00より同窓会総会が徳島阿南市内のホテルにて高徳島支部のお世話にて開催されました。

総会は本年度までの物故者の方への黙祷からはじまり、平成29年行事報告、決算報告等が行われました。また次年度開催地として今治支部での開催が決定いたしました。

続いて行われた懇親会には40名の方の参加があり最後には校歌の大合唱となり閉会となりました。本年は恒例の同窓会ゴルフ大会が当日開催されたこともあり懇親会も大盛況となりました。

来年度の今治にも多くのかたのご参加をお待ちしております



平成30年同窓会同会

### 横浜港カッターレース報告

5月20日日曜日に開催された第35回横浜カッターレースに参加した弓削商船OBチームがシニアレースで初優勝いたしました。一般レースではチームかみじまが総合8位と大健闘と優秀な結果を2チーム残せた事をご報告させていただきます。

#### レース結果

1. シニアレース 弓削商船OBはまと 優勝 タイム2分43秒97 (12チーム参加)
2. 一般レース 弓削商船OBかみじま 準決勝レース総合8位 タイム2分42秒97 (167チーム参加)
3. 一般レース 弓削商船OBはまかぜ 第一レース1位着 タイム3分35秒85

4. 一般レース 弓削商船OBしらすな 第六レース4位着 タイム4分9秒50

来年もシニアチームによる連覇と更に好成績を残すべく弓削商船OB横浜カッターレース幹事会での活動を盛り上げて行きますのでみなさんの更なる応援参加を宜しくお願い致します。



H30横浜カッターレース1



H30横浜カッターレース2

### 新入会員(商船学科卒業式)の報告

H30年3月電子機械工学科、情報工学科の卒業式、生産システム工学専攻の修了式が学校にて行われました。残念ながら全員が同窓会へ入会していただけておりませんが、また新入会員を迎えることになりました。ご入会いただいた卒業生の皆様の将来を同窓会ともども支えていきたいと考えておりますので、先輩方のご協力もよろしくお願い致します。ご入会いただいた新入会員のみなさま、あらためてご卒業おめでとうございます。



H303 月卒業式

“同窓会表彰を受賞した情報工学科卒の村上君（左）、電子機械工学科卒の毛利君（右）  
柏木会長（中央）

（同窓会副会長事務局 E46 益崎真治）

# 海技教育機構

## ○ 青雲丸での長期実習

4月1日、高等専門学校第47期生（航海科・機関科）171名（うち女性14名）は青雲丸に乗船し、6年生としての実習をスタートしました。いくつかの実習を紹介します。

### ➤ 航海計画演習

乗船3日目、航海科実習生は「航海計画」の講義を受け、早速、8グループに分けた航海計画の担当エリアが割り振られます。

航海速度や離岸距離は共通条件として提示されますが、その他は、今まで勉強してきた航法、考慮すべき気象・海象、水路図誌等で港湾事情を調査し、航路・錨地の選定を行っていきます。

1本のコースラインを引くにも、あらゆる事柄を考慮しなければならず計画の重要性について身をもって感じるようになります。

5月初旬の航海計画発表会では、各グループとも存分に成果を披露でき、活発な質疑応答もありました。



航海計画発表会

### ➤ ピストン抜き実習

5月中旬、三河湾に1週間ほど錨泊し、主機のピストン抜き実習を実施しました。

機関科実習生は、乗船当初から主機取扱説明書と格闘しながら、実習生主体のチーム作業で

主機ピストン抜き作業（NO.1、NO.5シリンダー）ができるよう開放整備作業企画書及び手順書を綿密に作成しました。また、必要な工具・計測器具や重量物の取り扱いを実習で学び、実際の作業に活かしていきます。

5日間に渡る大作業でしたが、機関科一丸となり、汚れ作業服に身を包みながら全力で取り組みました。



主機ピストン抜き

### ➤ 揚投錨操船実習・機器S/B対応実習

5月下旬、航海科は実習仕上げとなる揚投錨操船実習が実施されました。

実習生それぞれが船長や一等航海士役などを輪番し、抜錨・増速、減速・投錨を三河湾内で3日間繰り返しました。船長役は、青雲丸を自在に操るため、自船の操縦性能を把握したり、海図とにらめっこしてコースラインや顕著な物標を確認したり、船橋でのチーム員とイメージトレーニングは万全で望みました。



揚投錨操船実習

当日は、緊張の余り声が出なかった者、予定航路上に他船が現れ計画どおりできなかった者、様々ですが貴重な経験をしたことでしょう。

機関科は、機関室にて主機スタンバイ時における応答操作についてERMを意識しながら実践しました。



#### ➤ 青雲丸下船式

6月10日、神戸で下船の日を迎えました。下船式での引き締まった表情、下船後の笑顔を見れば、この実習が彼らにとって有意義だったことは一目瞭然。

実習生は一度家族の元へ戻り、7月から始まる実習に向け、鋭気を養います。



下船式(神戸)

高等専門学校第47期生は、7月から、航海科は2つに分かれて銀河丸と青雲丸、機関科は全員銀河丸に乗船し、就職前の最後の実習に取り組んでいます。

#### ○ 海技教育機構研究発表会

9月20日(木)、第5回海技教育機構研究発表会を横浜第2合同庁舎1階の共用会議室にて開催いたします。

入場料は無料、事前登録も不要ですので、参加をご希望の方は直接ご来場ください。詳細は当機構ホームページにてご確認ください。



～練習船行動予定や学校行事はこちらから～

JMETS ウェブサイトを全面リニューアルし、様々な活動をお知らせしていくこととなりました。練習船の行動予定や学校行事もすぐに検索可能となりました。

今後ともご活用方、どうぞよろしくお願いいたします。

「JMETS」検索 又はQRコード



そのほか、日々の模様はFacebookからもご覧いただけます。若かりし実習生だった頃の懐かしい光景を目にすることができるかもしれません。

実習生や乗組員への応援メッセージもよろしくよろしくお願いいたします。



JMETSイメージ写真

<https://www.facebook.com/jmets.ac.jp/>

今後ともJMETSへのご支援をよろしく願い申し上げます。

企画調整部企画課 岩崎裕行

## 本部・支部だより

### <本 部>

2018/04/12	キャプラン井上チーム長来会	2018/06/12	公益財団法人船員雇用促進センター 常務理事保坂均氏訪問(酒迎)
2018/04/14	平成30年度第1回理事会開催	2018/06/13	独立行政法人海技教育機構 理事長野崎哲一氏・理事(航海)大藤高広氏・理事(総務)久門明人氏・理事(教育 国際)村松智司氏訪問(酒迎、土屋)
2018/04/16	公益財団法人日本殉職船員顕彰会催事員会(田島)	2018/06/13	帆船日本丸横浜みなと博物館 会長金近忠彦氏・常務理事船長飯田敏夫氏訪問(酒迎、土屋)
2018/04/18	ふるさとの海を愛する会川口氏来会	2018/06/13	横浜市港湾局 局長伊藤慎介氏訪問(酒迎)
2018/04/18	岡三証券虎の門長谷川氏来会	2018/06/13	東京湾水先区水先人会 常務理事綿森茂樹氏訪問(酒迎)
2018/05/09	平成30年度第1回HTW調査検討委員会(及川)	2018/06/13	横浜海洋会福祉協会 相川康明氏訪問(酒迎)
2018/05/11	国交省海事局船員教育室長川路氏訪問(岩田、及川)	2018/06/13	帆船日本丸保存活用促進委員会設立総会(酒迎、土屋)
2018/05/14	海運立国総会(岩田)	2018/06/14	日本郵船株式会社 常務経営委員小山智之氏・海務 G 長樋口久也氏訪問(酒迎)
2018/05/14	大和証券大村氏来会	2018/06/14	NYKBP 社長野瀬泰之氏・執行役員海技小谷佳秀氏訪問(酒迎)
2018/05/15	第48回戦没・殉職船員追悼式(観音崎)(岩田、及川、田島)	2018/06/14	近海郵船株式会社 社長田島哲郎氏・取締役安全管理部長上迫田晃氏・訪問(酒迎)
2018/05/18	船長協会総会後懇親会(岩田、及川、田島)	2018/06/14	日本郵船株式会社 会長工藤泰三氏・社長内藤忠顕氏・代表取締役専務経営委員力石晃一氏訪問(訪問)
2018/05/20	横浜港カッターレース大会(岩田、及川)	2018/06/14	鳥羽商船高等専門学校伊藤学科長来会(練習船 C/O の求人検)
2018/05/21	海技教育機構企画調整部長乾真氏、企画調整部業務課長外谷進氏来会	2018/06/15	富山高専山本学科長来会
2018/05/22	日本殉職船員顕彰会監査(及川)	2018/06/18	大和証券大村氏来会
2018/05/29	日本殉職船員顕彰会理事会(岩田)&評議員会(及川)	2018/06/18	みずほ証券夏莉氏来会
2018/05/30	日本船員災害防止協会関東支部原田事務局長原田氏来会	2018/06/18	日本海難防止協会理事会(酒迎)
2018/05/30	日本海難防止協会理事会(岩田)	2018/06/19	三菱 UFJ 証券松山氏来会
2018/05/31	大和証券 狩野部長来会	2018/06/19	海技教育財団評議委員会
2018/06/06	公益財団法人海技教育財団第12回奨学生選考委員会(田島)	2018/06/22	第125回関東船員災害防止連絡協議会(田島)
2018/06/06	水野会員と総会進行について打合せ(及川)	2018/06/26	全船協神戸支部訪問(酒迎)
2018/06/06	海技教育財団第12回理事会(岩田)		
2018/06/08	平成30年度総会 & 平成30年度第1回臨時理事会 & 懇親会(日本教育会館)		
2018/06/12	公益財団法人日本殉職船員顕彰会 理事長半田修氏訪問(酒迎)		



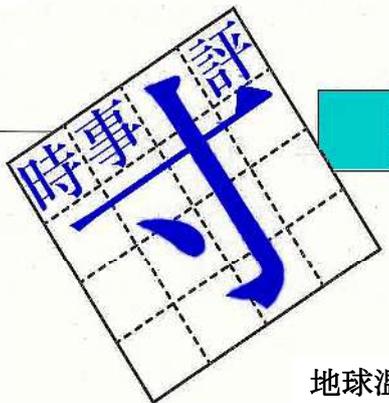
- 2018/05/18 神戸港みなと安全祈願祭 福地  
2018/05/21 七呂会員 神戸港校長古場氏に  
面会の為来神  
2018/05/23 消防設備点検整備  
2018/05/28 定例会  
2018/05/30 神戸市みなと総局事業計画説明  
会  
2018/06/08 本部にて総会(欠席)大阪湾水先  
区水先人会年会費請求  
2018/06/15 神戸海難防止研究総会、懇親会  
2018/06/25 定例会  
2018/06/26 酒迎新会長、入江氏 来室 10:  
00~11:45  
2018/06/29 神戸港新港協会総会  
2018/06/30 進学合同ガイダンス 13:00~17:  
00 三宮研修センター酒迎会長も  
来神参加



# 会費納入者芳名帳（敬称略）

平成30年4月5日～7月20日

平成29年度分	畠山 進	萩原 栄二	JXオーシャン
終身会員	仁藤 多喜男	新田 真一	浦川 修
中島 章	菊地 栄輝	山本 真丈	本田 修
個人入金	長嶋 大介	鈴木 直也	秋元 光博
原田 博之	村岡 稔	寺西 尚平	須田 浩明
岡本 篤	板谷 拓実	迫間 利紀人	早崎 弘泰
山岸 誉典	河田 英樹	山下 育孝	西本 雅之
平成30年度分	田島 大己	沖原 邦彦	二川 英樹
6月入金	山崎 真也	片渕 敏之	勝木 輝明
終身会員	大坪 鴻介	山岡 宣之	出貝 孝洋
川内 伯俊	仁井岡 友康	宇佐見航一	古川 洋
共栄タンカー	三木 良祐	木元 孝憲	山田 隆二
佐藤 好司	出光タンカー	徳山 公彦	山中 亨子
外谷 正彦	高野 清文	福井 悟	曾我部博弥
石田健一郎	野間 虎三	柴山 隆史	上澤 恒介
浦田 建	瀬戸口義典	伊賀 勇治	周佐 智也
中野 寛士	有馬 功人	児玉 賢志	山田 健太
小林 利萌	中坂 勝史	間島 崇夫	鬼塚 夕季愛
大阪湾水先区	山本 一成	金子 大輔	新田 浩貴
水先人会	7月入金	大宅 理志	中玉利 治
中島 敏行	個人入金	上井 博明	
森田 任紀	大原 智喜(再入会)	百合野 剛	
大下 和義	中山 隆志(新入会)	平木 恵介	
佐尾 治作	商船三井	酒井 勇樹	
荒木 新一	田邊 正彦	濱松 直也	
齋藤 彰	中川 敏昭	佐々木翔輝	
習田 誠至	吉村 英昌	漁野 智洋	
西村 誠	浅田 幸一	廣村 匡俊	
内海 真吾	藤川 政良	濱田 祐司	
分部 久	山口 智彦	松下 薫	
山下 公弘	田村 孝夫	河本 優	
香田比呂志	山本 和之	中尾 拓弥	
金山 聡	和田 雅人	阿部 誠	
野崎 正則	藤井 仁	梅田 尚宏	
濱地 義法(新入会)	枝次 真治	染矢 真行	
山友汽船	中塚 達也	田川 寛大	
望月 正信	朝日 健二	渡邊 真史	
松林 祐馬	綱島 毅	早柏 隆太	
北島 章市	滝浦 文隆	溝渕真太郎	
前田 重信	竹原 敏宏	杉野 智	
三浦 宗義	栗原 誠	越田 亘	
川渕 仁	橋口 靖生		



### 地球温暖化の影響？

今年7月に西日本は豪雨にみまわれました。死者は200人を超えの大災害で数十年に一度の災害を意味する「大雨特別警報」が11府県で発令、大雨が長時間続き、河川の氾濫、土砂崩れなど甚大な被害に遭遇、なぜこれほどの雨が短時間に降ったのか？地球温暖化を唱える専門化もいます。我々船乗りが南方で遭遇する豪雨(スコール)に似ているところもありますがスコールは範囲も狭

く長時間続く事は稀です。

このような災害が今後も発生する可能性が充分考えられます、自然の力は偉大です、人間知恵を絞って当たらなければ成りませんが地域ぐるみの活動が必須条件となり、人命を如何に守るかが焦点となります。「備えあれば憂い無し」の一言では済まされない時代となってきたかも知れません。

間もなくやって来る台風シーズンですが今までに無い進路を取る台風も存在するようになり、自然災害を常に念頭に置くべきと思慮いたします。

土屋(記)

### 表紙写真 RORO 船「神北丸」 提供先 北星海運株式会社

今回の表紙写真は、北星海運株式会社の新造船「神北丸」です。

株式会社新来島どつく大西工場において、最新鋭RORO船「神北丸」が平成29年5月26日に竣工しました。

本船の要目は次の通りです。

航行区域：限定近海、総トン数：12,430 G/T、全長：166.99m、幅：27.40m、深さ：23.77m、積荷：ロールペーパー他、積載量(K/L)：6,600 トン、その他詳細は本文北星海運株式会社社船紹介を参照下さい。

### 編集後記

本号は編集を主に担当することになり、今までとはちょっと違った形での会報発行業務となりました。

大変だったのは掲載原稿が本紙を埋められるかどうか又慣れない校正作業と戸惑いの連続でした。そんな中、関係各位のご協力を得て無事発行できました。今後は是非皆様の**忌憚りの無いご意見**をメール等で送って頂ければ、私を含め「広報・ホームページ委員会」の面々で早速検討したいと考えております。

今年の夏は猛暑日が多く暑い夏のようにです。熱中症にかからない様注意して過ごしたいものです。

田島(木)

全船協 No.138 夏季号

平成30年8月 発行

◇発行所・一般社団法人 全日本船舶職員協会 ◇編集兼発行人 土屋 正徳  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町二丁目3番地 金子ビル206号室  
TEL 03-3230-2651 FAX 03-3230-2653  
E-mail : [honbu@zensenkyo.com](mailto:honbu@zensenkyo.com) URL : <http://www.zensenkyo.com>

Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

# 東京湾水先区水先人会

会長 西本 哲明

本部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル 代表 TEL (045) 650-3180 FAX(045) 663-4811

URL: <http://www.tokyobay-pilot.jp> オペレーション部 TEL (045) 681-4081 FAX(045) 681-4090  
TEL (045) 681-4091

東京事務所 〒108-0022 東京都港区海岸3丁目33番17号 TEL (03) 3453-1691 FAX(03) 3453-4025

千葉事務所 〒260-0023 千葉市中央区出洲港15番1号 TEL (043) 242-6391 FAX(043) 248-2553

木更津事務所 〒292-0836 木更津市新港8番5号 TEL (0438) 36-0700 FAX(0438) 36-4696

川崎事務所 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島38番地1 602号室 TEL (044) 266-8877 FAX(044) 266-8877

横須賀事務所 〒239-0831 横須賀市久里浜8丁目10番6号 TEL (046) 835-5709 FAX(046) 835-4977



## 内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 齋藤 實

〒650-0042  
神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階  
電話 (078) 332-7191 FAX (078) 391-7157  
E-MAIL [info@inlandsea-pilots.jp](mailto:info@inlandsea-pilots.jp)

・海技教育支援事業 ・奨学金貸与事業  
・帆船海王丸体験航海事業 等

## 公益財団法人 海技教育財団

会長 朝倉 次郎

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4  
電話 (03) 3288-0991 URL <http://www.macf.jp>



## 伊勢三河湾水先区水先人会

ISE-MIKAWA WAN PILOTS' ASSOCIATION

会長 上原 雅

〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5  
電話 (0569) 23-0713

## 関門水先区水先人会

会長 山根 達則

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号  
電話 (093) 332-2384(代)

## 鹿島水先区水先人会

会長 郡 茂典

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16  
電話 (0299) 82-5515  
FAX (0299) 82-6205

## 鹿児島水先区水先人会

会長 松下 忠夫

副会長 橋之口 勉

水先人 今村 義幸

〒891-0122 鹿児島市南栄5丁目10-8  
電話 (099) 260-7707  
FAX (099) 260-7717

### 宿泊設備 (海員会館) のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン  
Ocean  
RESTAURANT

ナビオス横浜



3階 バーラウンジ  
Seamen's Club



ナビオス横浜  
International Seamen's Club & Inn  
TEL : (045) 633-6000

川崎海員会館 TEL : (044) 233-5896

エスカル横浜 TEL : (045) 681-2141

エスカル神戸 TEL : (078) 341-0112

一般財団法人日本船員厚生協会 (045) 319-4506

ホームページ <https://www.jswa.or.jp>

# 船しごと、海しごと。

## 二訂版



本書は、船の仕事について知りたい、やってみたいという欲求に応える本です。船や海にまつわる話を、そして、「海を舞台に船舶職員として働く」ための道筋を系統立てて示してあります。初版本の巻頭から巻末まで改めて内容の見直しを行うとともに、数値やデータなども更新した二訂版。

商船高専キャリア教育研究会 編  
A5判 232頁 定価(本体2,200円+税)

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4  
TEL 03-3815-3292 FAX 03-3815-3953

### 海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>  
e-mail: hanbai@kaibundo.jp



海事関係のお客様は全日本海員組合の組合員のご紹介があれば特別価格にてご婚礼及びご宴会がご利用いただけます。

### ようこそ船乗りたちの庭へ

Wedding, Banquet and Stay...

ご婚礼・ご宴会各種会合、そしてご宿泊。

レインボーブリッジをはじめとする東京湾の素敵な景観とともに  
ごゆっくりお過ごしいただけます。

HOTEL  
Mariners' Court TOKYO

ホテルマリナーズコート東京 〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-28 TEL.03-5560-2525 (代表)

■ センポスの宿・健康診断 ■



一般財団法人

## 船員保険会

会長 霜鳥 一彦

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

SEMPOSビル 6・7階

電話 (03) 3407-6061 FAX (03) 3407-6597

URL <http://www.sempos.or.jp>

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の貨物  
船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。

### K2 シップマネジメント株式会社

代表取締役 可児 絃之

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14  
パークウヅ横浜 番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916

E-mail : [kani@ksh.biglobe.ne.jp](mailto:kani@ksh.biglobe.ne.jp)

### 清水水先区水先人会

会長 中村 政一

副会長 檜 垣 漸

〒424-0922 静岡市清水区日の出町10番80号

清水マリナーズターミナル3F

電話 (054) 352-2191

FAX (054) 351-0527